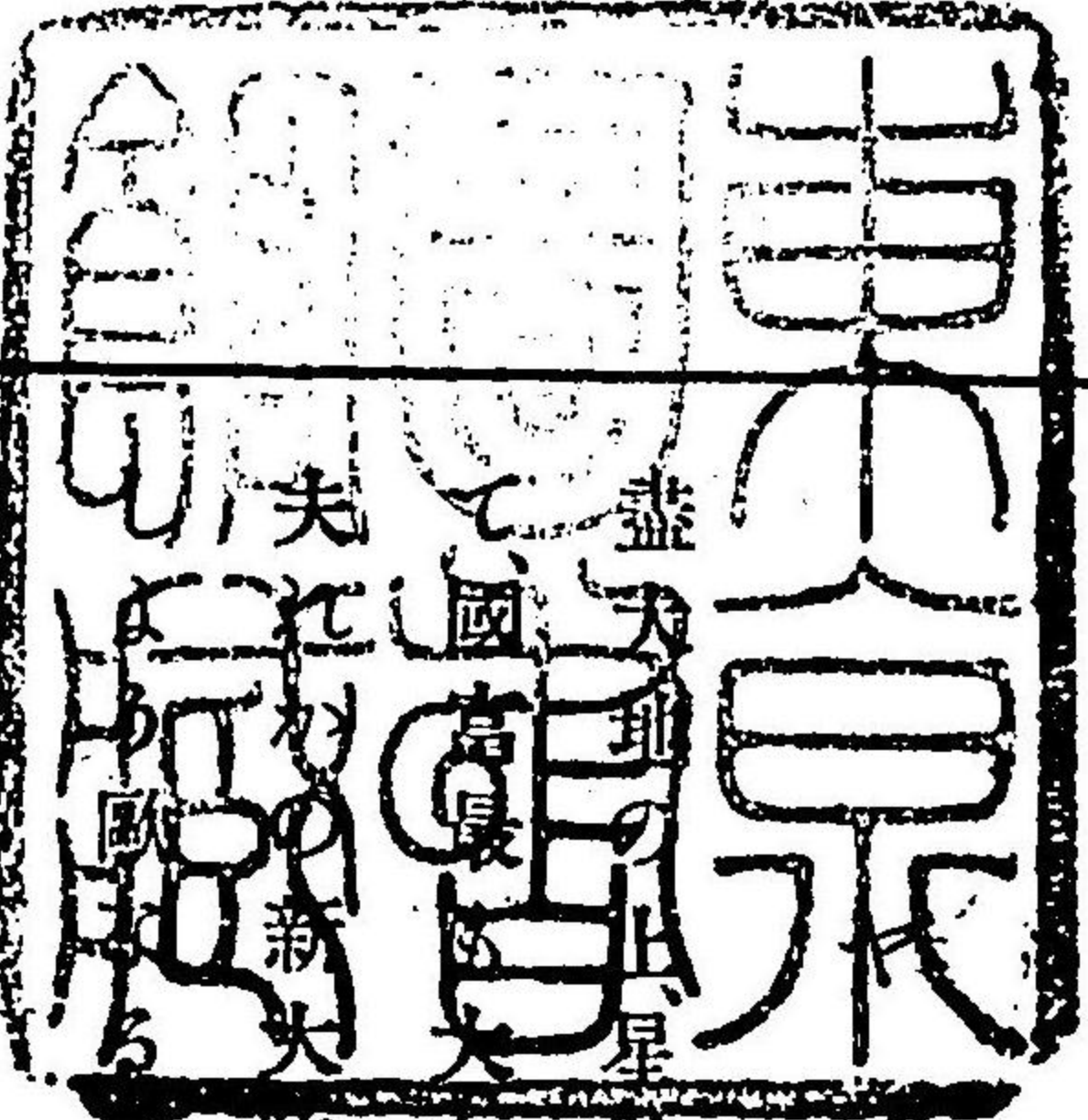
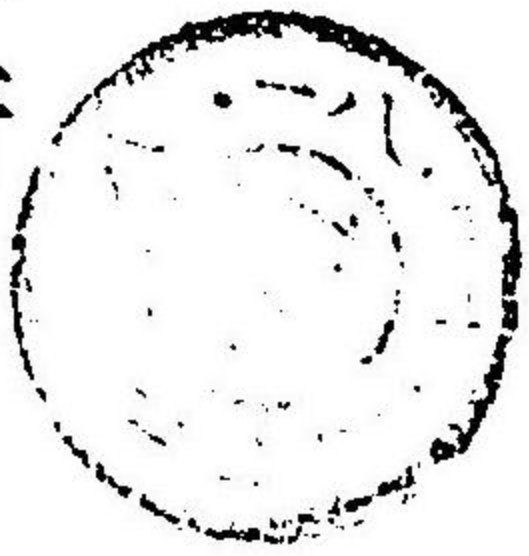


ヤンキー

キー國

長澤 説著



盡天理の星散恭布せる邦國極て多し然れども建國最も新らふし
 て國高最も大なるはヤンキーの國土となす。
 夫れが新大陸がセノワの貧航海士閣龍に依て宇内に紹介せられ
 る舊大陸民人陸續として渡航し來り遂ふ今の如き大富
 國を形成したるは三尺の小兒も尙は能く之を知る然れども細かに
 北米合衆國を形成したる殖民事情を考ふるに今の所謂我が日本の
 殖民事業と異なるや大なるを知る見ずや彼等の祖先は宗教上政治

ヤンキー國

上、本國と相容るゝ能はずして、茲處に移住し來りしなり。聞かずやマサチューセツ州は、何人が之れを創建したるかを、其の本國に容れられざりしピユリタン宗徒にあらすや。又た聞かずや南北カロリナ州は何人が之れを創建したるかを、同じく本國の宗教界に大不満なる佛國ウグノー派の人にあらすや。フィラデルフィヤ市は、何人が之れを創建したる。クエーカー宗教にあらすや。バーヂニヤ州、ロードアイランド、米國史を繕て各州の祖先の行爲を尋ねれば、轉た彼等が當年の辛苦を想はしむるなり。メーフラワー(五月花)號に塔して米の東岸に達せりと聞けば、太だ風流に聞へ、亦たロングフェローの大詩篇なる大尉スタンデッシュや、イバンチエリン等を誦讀せば、當時に於ける殖民地の狀況は太だ面白く覺ゆれども、實際は其の困難なる筆舌の能く盡くす所あらざるならむ。之れを要するに、米の祖先は千辛万苦の間

に所謂十三洲植民地の基礎を造りしなり。而して此の十三洲植民地は爾來愈々發達し來り、今より百十七年の前、即ち千七百七十六年の七月四日、米國獨立の義檄は、公衆の歡呼聲裡、四方に分布せられたり。草せし者は誰ぞ、曰くバーヂニヤ州のトーマス、ヂヤファアソン。抑も千七百七十年一月十七日、英兵がレバティーホールを倒し、同じき三月五日に、ポストン虐殺を行ひしよりや、戰雲は愈々益々新大陸に棚引き、バトリックヘンリーの如きは、鐵鎖若しくは、奴隸たるの代價を拂ふも、尙ほ且つ購はんと欲する程、生命は愛さか、平和は甘さかと絶叫せり。き。かくて帳簿を捨て、起つ者あり、鋤犁を擲て起つ者あり、四方相應して敵愾の公憤愈々堅く、所謂我等は戰はざる可らずとの一語は、植民人の大主義となれり。當時の勢たる、自由の爲め、植民地の爲め、一身の爲め、彼等は實に戰はざる可らざりしなり。バンカーヒルの戰、チャ

レ斯顿の圍み、アルノルドの反降、彼等は實に千辛して万苦せり。而して全く英軍を打破して、憲法同盟をフヒラデル州に開きしは、實に千七百八十七年五月、即ち獨立の大槪を分布せし日より九年目なり。今この米國を見よ、其の商業も繁昌せり、其の農業も繁昌せり、其の製造業も繁昌せり、況んや現にシカゴ市に開會せられつゝある大博覽會の如きは、其の規模の雄大なる、世界無比と云ふにあらざるや。想ふに合衆國は膨張的性質を有せるものにして、彼れの地置は亦た頗る膨張に利便なる者なり。初めの十三州何ぞ夫れ大なりと云はんや。しかれども彼れが疆域は漸次にミスシッピの大河を越へ、ロッキの大嶺を越へ、遂に太平洋沿岸に達し、北はカナダをして竊かお同盟を冀はしめ、南は墨哥其をして、大に恐れしむるのみならず、故ブレインの大經綸なる南北兩米の貫通鐵道にして成功するの日ありとせば、

富と智とを以て兩米に冠たる、合衆國は必ずや西半球の盟主として、東半球を睥睨するならむ。第一ナポレオンの先見、豈お恐れざるべけんや。今日に於てすら詩人バボデーが

我等が國は名譽の國よ、

我等が國の濶き手は

濱より濱に及ぶなり、

* * * * *

我が農穫は波立ちて

我が町々は日お榮ゆ

* * * * *

と歌ひしは故なきおわらざるなり、

今や日本人が殖民々々と呼唱しつゝある其殖民と北米合衆國に於

六
ける。當時の殖民とを比較せば、其の精神に於て大なる相違あるを見る。今の我が殖民を唱道する者は、果して宗教上、政治上の不平之れを激したるか。蓋し我が殖民を唱道する者は、宇内の大勢上及び國內に於ける人口過殖等の事より割出したる殖民策おして、宗教上若しくは政治上の不平より激成したる殖民策には、あらざるなりしかれども、これ何ぞ妨げん、或は却て彼等に優る新大國、新富國、新強國を建祖設するやも知る可らず。唯荷も殖民の先驅たらんと欲する者は、米の先が嘗め盡したるが如き艱難辛苦を物の屑どもせざる覺悟を要すべきのみ、而して我が殖民は如何なる方策を採るべきか、思らく亂點主義お若くものなけん。

かの碁を圍む者を見ずや、彼れ一子を下し、此れ亦た一子を下す、黑白點々、前後左右、星布して、星散す。耽々として虎視する者前、おあり、儼乎

として龍蟠する者後へにありしかれども、其の巧碁者が下したる黒なる者、若くは白なる者を追ふて細かに之れが經緯を尋ねれば、縦お横に、左に右に、其の一端は他端と相連絡し、宛如として連珠塞の如きを見る。其の初め、電光の如く、石火の如く、倏忽としてかの一隅に一子を下し、倏忽として亦た此の一隅お一子を下し、此の中央、かの一隅と、規則なく、聯絡なく、隊伍なく、軍營なく、飛花の紛々たるが如く、お下子するは、これ實に旗を卷き、鼓を伏せたるもの、若くは斥候として敵の舉動を伺ふべきもの、若くは伏兵の用をなすべきものにして、其の局を了へて、子數を算するや、初めの亂點は悉く一線の疏通するありて、彼處にも大封土あるなり、此處にも亦大封土あるなり、而して推碁者の所爲は之れに反す。初めより一隅を固守し、漸次お武歩を進めて、敵國に侵入し、蠶食せんと擬す。故に一隅を固守し、了り、眼を舉げて四方

八
蠶食すべきの國土を求むるに、敵は既に四方に散在して、倚角、長蛇、鶴翼等の陣を張り、亦た侵入蠶食するの餘地なきを如何せんや。加之ならず、敵は東西南北より來りて我が城廓を圍み、固守して動くなしと思ひ居たる城廓も、次第に弱り來りて亡滅に歸せざるもの夫れ幾何ぞ。殖民事業は夫れ猶ほ碁の如き也。南米に於て、濠洲に於て、墨國に於て、朝鮮に於て、及ぶ丈、手を擴げて地盤を占め置かすんば、焉んぞ全局の大勝を期するを得んや。日本擴大策の上より見れば、我が盤面に侵入し來る者を防がんとて、丁寧に一目一目を繕はんより、寧ろ至盤面なる大宇内を睥睨して、彼處此處に伏線的、導火的、碁子を下だすの利あるに若かざる也。知らずや風雲勃々として、天地暗からは、蛟龍は遂に地中の物にあらざるを是れ之れを亂點主義と云ふ。今の我國をしてヤンキー國の如く富ましむるは、國民が畢生の大願なり、我國を

してヤンキー國の如く膨張せしむるは亦た國民が畢生の大願なり。我が民人をしてヤンキー國民人の如く自由ならしむるも亦た國民が畢生の大願なり。而して我が櫻花國をして斯の如くならしむるは、洵も米民の祖先が當時に於けるが如き堅忍不拔の精神を要す。尙ほ言ふべきは、植民地に於ける禮法問題なり。夫れ植民地は尙ほ小兒の如し、植民地は繁文縟禮を以て、民人を苦む可らず。法と禮とを簡にし、夫れをして充分に發達の餘地を有せしむべきなり。若し否らずんば小兒を束縛するに極めて嚴刻なる規則を以てするが如く、遂に小兒をして萎縮に了らしむ。これ豈に志慮ある者の所爲と云ふべけんや。ヤンキーの國が今の如き大富國となりたるは實に斯の簡易的禮法與りて力ありとす。其の東部諸州は、開國日久しきを以て、且つ種々の變遷を経たるを以て、社會の事物大抵整頓し、殆んど新開國にあら

ざるやの觀あるが、其の西部諸州に至りては、日本人の如き禮法的な生長したる者にして此處に到り見ればこれ殆んど禮法なき國なるなからんやと疑ふ程なり、其の禮法なきかを疑ふ程なるは、發達の中途にある者にして、尙ほ小兒的時代にあるものなり、若し夫れ我にして植民地を墨國に開かんか、南米に興さんか、孰れにしても、其禮と法とを簡にして、充分に發達の餘地を與へ置かざる可らざる也。

人或は曰ふ、ヤンキーは愛財的の動物にして、金錢以外に尊尙する者あるを知らずと、夫れ或は然らん、然りと雖も彼等は事お臨みて大金を擲つを辭せざるなり、就中公共の事業に向ふて大金を擲ちて、名譽となす者なり、國土大にして國民の心志も亦た小なからず、全力を傾けて大學を設立せし者、病院を設立せし者、橋梁を架設せし者、育兒院を設立せし者、圖書館を設立せし者等、指を屈して此等を數ふるに、殆

んと十指を屈する幾回なるを知る可らず、謂ふ勿れ、米人は悉く貧欲の動物なりと、尙ほかく力を公共の事業に盡す者の許多なる也、かの紳商と稱し、富豪と號し、徒らに巨万の財産を擁して、公共的慈善的國家的の事業に益なく却て小民を困ましむる者の如き、愧死すべきなり。

之れを要するお、我が對岸なるかのヤンキー國は、民は日に繁殖し、富は日に繁殖し、其の文化は歳々に發達し、而して其の國土も亦た自然に擴大し來らんとす、對岸の日本人たるもの、豈にヤンキー國を輕々に觀過して可ならんや。

支那人を如何せん

五大洲は廣からざるにあらず、然れども支那人の之かざる所なく、住

せざる所なし。變烟障霧、彼等之れを見ると、花の朝に棚びける霞か、五月雨の如きのみ、怒濤鯨波、彼等之を見る淺瀬洲渚に異らず、千丈の大谿も、万仞の絶壁も、彼等あてて何かあらむ。赫々たる赤道直下も、凜々たる北極の氷陸も、彼地は平然たり、夷然たり。苟も水と空氣のある處、處として支那人の墳墓にあらざるなきなり。況んや北米聯邦の如き、土地廣く、人口少く、遺利多く、勞働者の賃銀高き箇處に於てをや。彼等焉んぞ商業に、勞働に、先きを争ふて群り來らざらんや。されば大西洋岸の諸州、太平洋岸の諸州、中部諸州等、合衆國內に居住せる支那人を合算すれば、殆んど二十萬の大多數に達す。豈に驚くべきあらずや。蓋し支那人は團居を好むの人ならむ、如何となれば十人若しくは十人以上の支那人ある處には、必ず嚴として支那町を建てざるなれば也。見すや大西洋沿岸の大都會なるニューヨーク市にも堂々たる支

那の立つを、亦た目下大博覽會の開設中なるシカゴ市にも堂々たる支那町のあるを、而して太平洋沿岸の大都會サンフランシスコ市に至りては前者に比して最も大にして、米國中最も盛壯なる支那町を有する也。これカリフォルニア州は他州に比して最も支那人の多ければなり。試みに米國に於て最も繁昌せるサンフランシスコ市支那町の一斑を示さむか。町は市の殆んど中央にして、其の位置たる我が東京を以て之れを例せば、宛も駿河臺の如き丘陵の半腹を占め居るなり。米國風を以て建造し、而して支那風を以て裝飾したる大厦高樓相連り、其の間に住居せる豚尾漢は總數六萬あり、而して婦人は其二十分の一なりと云ふ。劇場あり、割烹店あり、衣服店あり、美術品を賣る家あり、時計を賣る家あり、食品を賣る家あり、阿片を喫する家あり、雜貨を賣る家あり、學校もあるなり、娼妓もあるなり、質屋もあるなり、賣

ト屋もあるなり、賭博場もあるなり、観音堂もあるなり、馬鹿ペーもあるなり。以て其の支那的繁華を逞ふ事を察すべきなり。支那町や遠く之れを望めば、太だ繪畫的にして、太だ興味あるが中に入りて細かに之れを観れば、一驚再驚お逢はずんばあらず。先づ驚くは不潔なり。彼等は殆んど清潔と不潔との區別を辨せざるかの如く、其の最も太だしきは、臺所の傍らに小便をさへ放ちて顧みざる也。其の裏店若しくは小路等の家々に至りては、汚穢なること譬へんにもなく、臭氣紛々、鼻を蔽ふて走らざらんと欲するも得んや。加之彼等は白人的の應對禮讓に關はらず。此等は實に彼等が白人より嫌惡せらるゝ、所以の一ならむ。支那人が群居するは、獨り都會の地を限るにあらず。寒村僻地に農耕を營む者と雖も、群居の便宜あれば、忽ちにして群居する也。例せば余が寓し居たるスタンフォード大學より、殆んど二哩ばかりの處をメイフィールドと稱する戸數殆んど二百ばかりの小村あり。村の近傍に家鶏を養ひ或は野菜を作るを以て營業とせる五六軒の支那人ありしが、彼等の家は皆な近接し、其の食物の如きも、決して米國産のものを食はず、皆な之れを便宜を計りて遙かお支那町より、本國より輸入し來りたるものを求めて食ふなり。かくの如くにして、彼等は只管に貯財に汲々し、其の都會に在りて大なる資本を運用して、大なる商業に従事する者は固より一時に巨大の利益を博取し、其の労働者若しくは小農業者等に在りては、日に銖銖を積みて怠たらず、而して往々にして數千若しくは萬以上の富をなすに至る。其のニューヨーク市シカゴ市若しくは桑港等に於て商業に従事せる支那商人に數十萬金の富を有せるものあるは人の知る所なるが、太平洋沿岸に在りて農業に従事せるものの如き、また其の大なる者お至りては、

支那人を如何せん

數百エーカーの大耕地を所有し、居然として雄視する者も少からず。
 米人が支那人の渡來を拒絶し、且つや在留の支那人をさへ放逐せんとするは、敢て近年に初まれる事あらずして、之れが爲め、グレール案は八年前國會に歡迎されて、今尚ほ非支那人黨の心を欣ばしめ、而して非支那人黨の欣ぶ丈け支那人を苦めつゝあるが、また現に昨年の如きもグレール案効力の期限終るとて、グレール案よりも一層苛苦なる支那人拒絶案は難なく衆議院を通過せりき。支那人問題、これ實に米國に於ける大問題なり。見よ如何に米國政府の之れが爲めに苦みつゝあるかを。去年は大統領より特に支那事情取調委員を指命して之を取調べしめ、今年はまだ國庫の金を以て支那人送還の費用に充てんと欲す。米國に於ける支那人の運命も憫む可堪へたるもの

なしとせんや。然りとも雖も米人果して支那人を放逐し克ふべきか、グレール案に言ふ所の如く米國々内に官吏、商人等の外一切支那人の足蹟を印せざりしあるを得るか否か。
 想ふに支那人が米國の物質的文明、特に西部諸州に於ける物質的文明の進歩を助長せしは、其功決して鮮少と云ふ可らざるなり。彼等は白人労働者が受取る半額の低價賃銀に満足して、鐵道の工事に勞働せり。西部諸州に鐵道線の速かき延長せしは、支那人労働者の力與りて大なりと云はざる可らず。其の他田園の耕作の如き、鐵山の開掘の如き、支那労働者の力を借りしもの頗る大なり。是に於てか支那人は初め頗る米人に愛遇せられしなり。利お趨くに敏なる支那人豈に少しも猶豫せんや。彼等は陸續として入り來れり。陸續として入り來りし結果は遂に如何知るべし。逐斥案。彼等は何んが故に逐斥案を戴かざ

支那人を如何せん

る可らざるに至りたるか、これ外面は自ら速きし罪なりと云ふと雖も、彼等が労働界の競争に於て白人労働者に打ち勝たんとする徴候の見へしのみならず、或る一部分に於ては業既に打ち勝ちたれば也。而して一方を見れば白人労働者は支那人労働者の爲に労働的競争に敗北したるが故に奇兵を政治上に張り、労働的敗北を政治的に於て復讐せんと企てしなり、尙ほ詳言すれば白人労働者は政治的に糊口の途を獲んと企て而して其の幾分を成功したるなり。

抑々米國は自由平等の大樂土なり、其の選舉は普通選舉なり、されは労働者と雖も、其の市長を選舉する時、其の州長を選舉する時皆な一票を投ずるを得、就令直接にあらざるとするも、其の大統領を選舉する時の如きも、亦た一票を投ずるを得るは、世人の熟知する所なり。米國の如き選舉を以て長官を昇任せしむる國柄に在りては、所謂政治

家輩より見ては、投票紙より貴重なるものはなし、何となれば一票二票の爲めに、市長となる事克はず、州長となること克はず、若くは大統領となること克はざればなり、而して労働者と雖も皆な一票を投ずるの權理を有し、且つや何處も同じ秋の夕暮、労働者の數が資本家の數より夥多なるは勿論なれば、市長志願、州長志願の所謂的政治家の如きは、争ふて労働者の歡心を求め、一票にても多數を占んと欲するは、見易き事實なり、これ労働者が支那人に復讐すべき最好唯一の器械にして、所謂的政治家より見れば、支那人問題を擔き廻り、大聲疾呼支那人を攻撃し、若し我れにして市長とならば、もし我れにして州長とならば、もしわれをして代議士とならば、必ずや支那人を放逐すべしと云々するは、競争に敗北したる労働者の心を動かすに於て、最好唯一の器械なりとす、是に於てか知る支那人問題は、支那人労働者

支那人を如何せん

寡き東部諸州より起らずして支那人労働者の夥多なる太平洋沿岸諸州即ちカリフォルニア、オレゴン、ワシントン等の諸州より起り來りたりしを事實既に斯の如し、然れども支那人放逐の理由は、正々堂々一見人をして其理由の正當なるに服せしむ、其の理由の主要に曰く、支那人は不潔なり、支那人は賭博を好む、支那人は私闘す、支那人は飲酒を好む、支那人は基督教を奉せず、是れ米國の風儀を紊る者なり、これ米國より放逐せざる可らず、支那人は廉價を以て労働に従事す、これ米人労働者の職業を奪ふ者なり、これ米國より放逐せざる可らず、と、然れども米國の現状を視察するに以太利より移住せし者、獨逸より移住せし者、西班牙より移住せし者、愛蘭土より移住せし者、其他舊世界より移住し來りたる労働者等、彼等果して不潔ならざるか、彼等果して飲酒し、賭博せざるか、彼等果して基督教を信奉し居るか、純粹

なる米人彼等自身と雖も、果して基督教を信奉し居るか、不幸にして、事實は然りと答ふる克はざる也、其の名邑大都に於て、白晝醉眼朦朧、歩行跚々たる醉漢、み逢はざるか、履足袋を穿たず、シャツを着けず、破れたるズボンに破れたる履、チヨッキヲ着けずして破れたる上衣を着し、人が獸か、殆んど區別の附かざる人間を見ざるか、賭博殺人、日々新聞紙を展へて見よ、殆んど數へ盡す能はざる程にわらずや、これをしも措て問はず、而して支那人のみ無宗教、不潔家、飲酒家、賭博家と宣告せらる、憐れなる逐客よ、兎小角或る一部の非支那人的米人は果して其志を遂げ得べきか、曰く或は然るを得ん、況や昨、米國の大審院は支那人逐斥案を以て違憲の處置あらずと判決せしに於てをや、於戲憐れなる逐客よ、彼等は國より逐はれ、布哇より逐はれ、濠洲より逐はれ、世界到る處青山ありと云ふ、と雖も、彼等を容るゝの境土は

支那人を如何せん

年々歳々少減し來るなり。唯た此の上彼等が大舉して移住すべきは、墨其哥以南の地なり。今や墨其哥以南の地即ち中米より南米一帯の地皆な多少支那人の移住して或は商業に、或は農業に從事せざる處なし。彼等は既に引力あるなり。蓋し彼等の南向するもの月又月、歳又歳に多うらむ。抑、墨國以南、南米一帯の地は我が櫻花國民を移植すべき我が櫻花國民が愉適なる故郷を歌ふべき我が國民が活潑々地の運動を試むべき好舞臺、第二の日本は實に布哇なるステーションを経て墨國以南の地に建設するを以て捷徑と信す。願くは逐客的那人が此の好舞臺を蹂躪せん前に櫻花國民は何ぞ早く根據を彼處に定めざる。

合衆國に於ける四千の同胞

我が櫻花國同胞の合衆國に在留する者、其の數四千に餘る。我が同胞にして海外に在留するもの多き、布哇を除きては、蓋し合衆國を以て第一とせざる可らず。何故にかく多數の同胞は米國に赴きたるか。回顧すれば今より八九年の前なりき。洋行熱は一時百度以上に上騰せしなり。猫も杓子も殆ど洋行々々と絶叫せすんば已まざるの勢なりき。且や某新聞紙の如き連りに米國渡航の利を唱道し、又米國より歸朝せし者の盛んに米の樂土たるを吹聴せしに於てをや。國內に於て糊口の資に窮せる者、學費不足、内地にありては學業を繼續する克はざる者、若しくは一獲千金の奇利を博せんと欲する者、其他種々の人物種を接して行き、前者歸り、後者往き、今日に至りても往く者尙は已まず。遂にヤンキーの邦土に四千の同胞を見るに至りしなり。四千の同胞は如何にして生活しつゝあるか。四千の同胞中其の居る

處、同じからず、其爲す處も亦甚だ異なれりとす。農家に雇はれて勞働に従事しつゝあるもあり、學校に入りて學業に孜々たる者もあり、商店を開き商業に従事しつゝある者もあり、半ば勞働し半ば身を學業に委するも者あり、而して賤業婦も亦た少からずと聞く、其の半ば勞働し、半ば身を學業に委する者と、農業に従事しつゝある者と、賤業婦とは、多く太平洋沿岸の各州に散在し、タコマ、シャトルト、フレズノー、サクラメント、サンフランシスコ等の諸市に於て最も多しとす。而して其の商業に従事しつゝある者は、東部諸州及び西部諸州に散在し、而して學資を本國の父兄より仰く者は、大抵東部の學校に在りしかれども、斯等の學生及び商業者は、其數極めて少數にして、四千中の百分の一を占むるに過ぎず、其の大多數に至りては、實に太平洋沿岸に散在せる同胞これなり。されば、日本人問題の起るは、支那人問題と同じく

常に西部諸州にして、特に東部に散在せる少數の學生の如きは、米人の眼中にも日本の眼中にも殆んどあるなしと云ふも、不可なきなり。試みに西部諸州に散在せる同胞が生活の神秘を發かんか。

北米合衆國太平洋沿岸に在留せる多數の日本人の職業を大別すれば

農家に雇はるゝ者、カリフォルニア州オレゴン州及びワシントン州等の農家に雇はるゝ者おして、カリフォルニア州に最も多しとす。其の大なる農家に至りては、百人若しくは百五十人の日本人を雇ふ家さへあるなり、其の仕事は、林檎、梨子、葡萄等の摘取、鑑詰、草刈り、ハップス摘み、ミルクしぼり、畝うなる等なりとす。而して其の賃銀は一日一弗以上二弗以下を得べし。

鐵道工事に雇はるゝ者、米國に於ける鐵道は、日一日より延長す。鐵

道の通^すゆる所田園必^ずが開け、從て鐵道會社の利益大なり。されば鐵道工事に要する人夫の如きも、其需要や少きにわらず。鐵道工事は初め支那人の得意場なりしが、漸次日本人に移り來り、今は殆んど白人と日本人との持切りとなりたる姿なりとす。而して其の賃銀は同しく一日一弗以上二弗以下を得べし。

斯く單に一日一弗以上二弗以下の賃銀を得べくと云へば太だ良きが如きも、彼等は自ら喰ひ自ら眠らざる可らず。試みに彼等が住居せる箇處に到り見るに、豚が住居するが如き小屋の内に又毛布等はなく、藁の中に眠る者すらあるあり、以て其の生活の狀を想像すべし。且つやかの桂庵の狡猾なる労働者の無智を以て奇貨措くべしとなし。雇主と労働者との間に立ちて不正の利を貪る者すらあり。加之日本労働者中には所謂労働組合の設けなきを以て、互に自ら賃銀を引き

下ぐる等の事ありて、太だ面白からざる風説の聞ゆること數々なりとす。

料理人。中人以上の産ある者は、大抵家小料理人を雇はざるはなし。日本の器用なる殊に書生の如きば料理書を繕きつゝ、料理に従事するを以て學ばずして料理の法を知るを得。されば同胞にして料理人たる者極めて多き。而して彼等は、大抵巧拙によりて一ヶ月十五弗以上五十弗以下を得べし。

家内掃除。これ文字の現はす如く、室内を掃除する者、大抵一ヶ月十弗以上二十五弗以下を得べし。

日雇仕事。これも文字の現はす如く、日雇にて労働する者、大抵一日の賃銀一弗以上とす。

スクールボーイ。スクールボーイは最も容易き労働にして隨て賃

銀の最も低きものなるが學校へ上らんと欲する者の如きは、大抵此の勞働を取るなり。即ち毎朝六七時に起き、ストーフに火を燃きつけ、朝食後皿を滌ひ、かくて學校に上るなり。科業終りて四時若しくは五時へ歸り來り、再びストーフに火を燃きつけ、晚餐後再び皿を滌ふなり。大抵一周間一弗半以上の賃銀を得べし。

此等の數者は皆雇主の家にて食ひ雇主の家に眠るなり。即ち雇主の家にて生活し居るなり。

列擧したる數種の外、殆んど數ふ可らざる程の職業と生活とあるが、多數の同胞が現に従事しつゝあるは、斯等に外ならず。而して彼土にありて彼等の勞働口を獲るの容易なる殆んど日本人が想像の外にあり。而して雇主が雇人を信用するとも亦た想像の外にあるなり。若し夫れ勞働口を得んと欲せば桂庵に之くか、否らすんば新聞紙に何

々の勞働口を得たしと云ふ廣告を出すなり。近來日本人の數頗る増加したるが上、日本人を嫌惡するの風増加したれば、數年前の如く、競ふて日本人を雇ふの傾なしとするも、尙ほ勞働口を得能はざるの患なしと云ふ。かくして勞働口を得て勞働するに、我が國の如く保證人や、身元引受人を要するふあらず。唯た雇主と雇人との間へ雇ふべし雇はるべしと云ふ口頭契約をなすに過ぎず。既へ雇ふや、彼等は新雇人一箇を家に殘さ置き、全家悉く外出して少しも怪まざるは、其人を信用するの大膽なる嶋國根性なる日本人の企て及ばざる所ならむ。在米の同胞其多きと既に斯の如く、且つ言ふ迄もなく、我れと米とは全然其の人種を異にし、而して同胞にしてかくの如き業務へ従事しつゝあるからには、彼等が勞働口を奪ふは當然の事なれば、一方は人種的競争より、他方は職業的競争より、彼等が日本人を嫌惡し嫉視す

るは已むを得ざる所ならむ。在米の同胞四千は、果して第二の支那人
たらざるの恐れなきか。ジャッパンニース、エキスクルージョン、ビルは
國會議場へ上り來るの恐れなきや否や。

思らく、日本人攻撃の聲は、年一年より高まり來るなり。人種的競争と
云ふが如きは、頗る限々の裡に行はれつゝあるものなれば、今にして
明白なる證憑を取りて茲處に論述すると克はざるが、今や職業の競
争は次第に切迫する所、遂に日本人攻撃の聲と化し來りしなり。彼れ
白人労働者等は公言す、日本人は廉價労働をなす者なり。廉價労働は
我等米人の労働口を奪ふものなり。且つ彼れ日本人は、男子にして婦
人的の職業をなす、これ米國婦人の職業を奪ふものなり。日本人は不
道徳なり。日本人は基督教を信せざるの民人なり。とて宛かも支那人
を攻撃するか如き口吻を以て日本人を攻撃する也。是に於てか所謂

的政治家は撰擧人の歡心を得んと欲し、公言すらく、日本人は豚尾種
と共に新大陸より清めざる可らずと。現にかの國會議員たらんと欲
して失敗し、州長たらんと欲して失敗し、市長たらんと欲して亦た復
た失敗したるサンフランシスコ市のドクトル、オダンチルノ如き、撰
擧の際大聲して曰く若し余をして市長たらしめば、必ず先づ支那人
と日本人とを逐出して我が労働者を助け、我が市街を清むべしと。愛
蘭の一醫士オダンチル一輩、及び職業的競争を敗北せんとする労働
者のみ日本人排斥を唱ふものならば、尙ほ可なりと云ふと雖も、サン
フランシスコ市に於けるエキザミナー、クロニクルの二大新聞を始
め、モーニングゴードルの如きも、サンフランシスコブレチンの如きも、
イブニングレポートの如きも、苟も事の乗すべきあらば日本人攻撃を
猶豫するものにあらず。されば大平洋沿岸に於ける日本人の聲價と

信用とは下落するも上騰するの望なしと云はざる可らず是も於て
 か恐る若し不幸おしてオダンチル一輩の徒が議會を出つるが如き
 あらば労働者の歡心を買はんと欲して日本人拒絶案を提出するわ
 らんことを就令日本人拒絶案にして否決せらるゝありとするもか
 いる議案にして議場に上せらるゝはこれ豈に日本人日本國の大恥
 辱にあらざして何ぞや要するにかの一部の労働者は日本人を第二
 の支那人たらしめて甘心せんと欲するあり日本人たるもの豈も深
 く思ふ所なかるべけんや然らば即ち人種的競争職業的競争として
 米國に於ける諸外國人と駢立せんには先づ參政權を得るにありか
 の獨逸より以太利より愛蘭より移住し來れる者や皆な市民となり
 て參政權を所有し居るを以て同じく海外より來れる日本人や支那
 人をば放逐せよ放逐せよと騒ぎ立つるなりされば若し我が櫻花國

まて公民たるの權理を得んか一票にても多くの投票を得んと欲す
 る所謂的政治家も喋々として日本人攻撃を口にし筆おせざるべく
 亦たかの労働者輩も大に顧る所あるあらむ唯た斯の公民權を得る
 の方策に至りては頗る困難なるものあり其の最も容易なる方策は
 若し西部諸州に永住せんと欲する者は先づ東部諸州へ赴きて永住
 じ以て公民たるの資格を作り而して後に太平洋沿岸に歸り來るな
 りこれ頗る迂遠なるも他に策なきを如何せむ唯た此の策にして之
 れを行はずんば在米日本人が前途夫れただ危しと云はざる可けん
 や

問ふ者あり若し日本人おして出稼的労働にあらずして太平洋沿岸
 に永住すとせば如何と思らく全然人種の異りたる邦土に入り産を
 作り財を殖せんと欲す多少の困難と障碍とに逢ふは言ふの要なき

なり。然れども知らずや、事物は障碍少きの處に向ふて發達するを。米國太平洋岸は今尚ほ遺利饒多なり。若し投すべきの資本と勞力とあらば此際に向ふて移住するも妙ならむ。何となれば既に汽船の便もわり、海路も太た遠遠ならざれば、且製産物を四方に運送すべき鐵路も通しおればなり。然れどもかく利便多きに從て、障碍も亦た極めて多きなり。知らずや、此際に向ふて移住せんには資本に富み、智力に富みたる白人と競争せざるを得ること尚ほ勞働者の場合の如し。さればもし他に移住すべき好箇處ありとせば、之れを捨て、彼れに向ふに若かさるなり。若し北米太平洋沿岸にして宛も布哇の如く、日本擴大策の上に於て大必要を感ずるの地なりせば、固より全力を擧げて之に向ふべきなり。然れども果して斯の如きを知らざる也。亦た北米太平洋沿岸に在りては、日本人は投票の權利を獲ること克はさ

る前に言へるか如し。移住者にして政治上の權理を有せずんばいざと云ふ場合に至りて少しの勢力もなく、空しく指を甜りて傍觀せざるを得ず。ヂエ人が露國に苦めらるゝ、以て証すべきなり。亦た人種間の嫉心は必ずや兩者の間に衝突し來らむ。固より教育あり、見識ある者ならむには日本人を見る、何の嫉猜かわらむ。しかれども其の教育もなく、見識もなき徒輩に至りては、遂に事なくして已むものにあらず。今の我が勞働者と白人勞働者との間に於ける關係は以て証とすべなり。されば恐くは移住地の未だ發達せざるに、紛紜は常に絶ゆる時なけむ。若し米國に向ふて移住するの資本と勞力あらば、寧ろ墨國若しくは其の以南に向ふに若かさるなり。

大學

米國に於ける高等教育場其數極めて多く其私立と州立とを併せ其のユニバセターと稱する者とカレリヂと稱する者とを合算せば實に二百七十箇の多きに達す此二百餘の大學中婦人大學あれども五六亦過ぎずして他は男女合併なりとす而して學生に到りても其の多きものは極めて多くコロンビヤ大學の如きは千五百七十餘の學生を有しコロネル大學の如きは千六百餘の學生を有しハーバート大學の如きは二千九百餘の學生を有しワシントン大學及びレキフオレスト大學の如きは各千七百餘の學生を有しミシガン大學の如きは二千八百の學生を有しペンシルバニヤ大學の如きは二千餘の學生を有しエール大學の如きは千九百餘の學生を有し而して其の最も新設なるスタンフォールド大學及びシカゴ大學の如きすら前者は七百五十餘後者は八百餘の學生を有するなり亦た其の少きもの

に至りてはアースキン大學ゲールスビル大學の如きラシオン大學の如き學生の數大抵六七十の間に出入す其の教授の數に至りても多きは二百以上に上るものあり即ちコロンビヤの如きハーバートの如きペンシルバニヤの如き是れなり其の少なき者は四五人に過ぎず即ちグレースビル大學の如きアーカンサス大學の如きニューメキシコ大學の如きオグデン大學の如きこれなり亦た其の圖書館の如きも其の太だ充てられたるはエール大學の如く二十萬卷の書籍を藏しシカゴ大學の如きは二十二萬五千を有し而してペンシルバニヤコロネルコロンビヤ等の諸大學も皆十萬以上の藏書を有するなり其の少きものに至りては藏書の數五六百に過ぎざるものありリットルロック大學カンザス州大學等の如きこれなり亦た各大學には大抵一定したる宗派あり假令ばメンヂストの如きプレスビテリ

ヤンの如き、バプテスタの如き、カンリツクの如き、レフオームドの如き、各々其の宗派を代表したる説教堂を有すと雖も、或は特別に一派に偏せざるものあり、即ちスタンフォード大學、シカゴ大學、ハーバート大學、コロチル大學、ジョンホプキンス大學、ミシガン大學の如きこれなりとす、亦た其の學科の程度の如きに至りても、或は頗る高きあり高からざるあり、或は極めて低きあり、其の高きは、獨佛等の大學に伯仲し、而して其の低きは我が高等中學に過ぎず、其の總長若しくは教授と云ふ者の如きも、米國仕上の學者は、太だ好地置を得る能はずして、有名なる大學の總長若しくは首席教授の如きは、大抵歐洲、特は獨英佛等に留學したるものを多しとするが、下等大學に至りては、米國仕上げの學者を以て之れに充つ。又た所謂學位の如きは、濫授の弊少からざるは世人の夙に知る所にして、日本人などに向ふては特別中

の特別なるは世人の熟知する所なれば言はず、之れを要するに大學なる名稱の下に一括したる米國大學は、玉石混淆のみ。

米國大學の真相に至りては、ブライスの『アメリカン・コンモンウエルス』之れを評悉して殆んど餘すなければ、茲には之れを重ねざるべし。抑も教育の目的は教育なる文字自身の示義するが如く、人を教育して、處世の途に迷はざらしむるにあり、即ち一方よりは徳義心を涵養開發せしめ、一方よりは實行的進歩的の智識を授與指導するにあり、尙ほ別言すれば、精神的物質的に於ける當代の問題を解釋し、應用するに綽々たる能力を有せしむるに在り、これ教育の大本領、大目的なり、其の英雄を作り、詩人を作り、小説家を作ると云ふが如きは、附屬若しくは特別の問題に屬す、然らば即ち高等教育場たる大學の本領も亦た知るべきのみ、唯た人々各々能あり、不能あるのみならず、精神界

物質界に於ける當代の需用も亦た頗る繁多なれば、科を各種に分ちて其の所長所能を發揮し、以て社會の需用に應せしむるにあり、豈に他あらんや。然りと雖も固より大學は他の小學や、中學の教育と同一にあらざして、學校的脩養はこゝに終りを告ぐるものなれば、而して其の脩養する所のものも、各々専門的の學科なれば、且つや、業を大學に脩めたる者は、社會に於ける高等的職業の需用に應ずるものなれば、大學の組織は慎重丁寧にせざる可らざるなり。

大學の學生に向ふて、德義的の教養と云ふが如きは、既に愚なり、何となれば、彼等は充分に斯的の志慮あるなり。彼等は小兒にあらず、初學者にあらず、彼等は各自德義を修進するの素養と傾向と、而してまた實行とあるなり。且つや、教授等の感化力たる、暝々の裡に於て頗る意想外の勢力を逞ふするものなれば、大學の業務として、學生に德義の

涵養を責むるは無用の至りなり。唯た大學の務むべきは、高等なる一種の進歩的實行的の智識を得せしむるにあり。然らば即ち高等なる一種の進歩的實行的の智識とは如何真理を理解せしむるにあり。即ち化學にあり、文學にあり、理學にあり、法學にあり、工學にあり、其の精神を理解せしむるにあり。而して其の精神は實言と事物とにあり、思想と實體とにあり、内部と外部とにあり、式樣と體質とにあり、法則と應用とにあり。此れを理解せしむれば、足る。彼等が理論家に傾くか、實行家に傾くかは、大學の問ふ所にあらざるなり。要は當代に於ける精神的物質的の現象を解釋する智識を與ふるのみある也。

既に大學的教育を以て以上の如きものとせば、米國の大學の如き分量の上に於て幾分か、此の目的を達し得たるものとせん。何となれば、米の大學は多數なり、有名なる市都には大抵大學の設けあらざるは

なし、其の近傍の子弟は實に大學の恩恵にあづかるを得、況んや米の大學には撰科生は勿論、大抵傍聴生と云ふ者もありて、教授の承諾により、籍を學生に置かずとも、日々出席して或る講義を聴くを得るなり。且つやかの大學擴張は日ふ其の規模を擴めつゝ、あれば、大學が大學としての天職は、益々之れを盡くすの傾向あるなり。されば米國大學は玉石混淆の誹は免るゝ、克はずとするも、彼等が米國に與ふるの功績は没す可らざるものあらむ。

顧みて我が國の大學を見るに、唯た一のみ、唯た一の大學は以て、日本國が需要する人材を供給するに足るか、就令他に専門の學術を教授するの學舎なきあらざるが、多くは文學、法學等の學問にして、他の科學に至りては、机帳に於ける農學校を除くの外殆んど高等學校なしと云ふも不可なるを見ざる也。これ豈に不完全の到にあらずや、宜

まぐ大學の數を増加し、其の教授と其の學生とをして相互に競争せしむ、これ腐敗を防ぐの最大良藥也。或は大なる時事問題に就て兩大學の間、討論會を開くも可なり、或は某學理に就て互に研究するも可なり、或は短艇競漕なり、或はフットボールなり、一大學の學生にて爲さんより、二三の大學相合して之れを行ふの興味あるに若かざるなり。此時に當りて獎勵せざる可らざるは、私立大學の設立なり。我國人は不幸にして官を見ること重く、民を見ること軽く、官立學校と云へば、人争ふて之れを赴き、私立と云へば、人之れを避く、これ官立學校には萬般の特許之れに附帶するが故なるべくも、かゝる思想は斷然廢斥せざる可らざると共に、官立學校に附帶せる萬般の特許は斷然之れを剝取せざる可らざる也。かくして官立大學にも私立大學にも同一の資格を與へ、以て私立大學の設立を獎勵するを佳とす。試み見

よかのデヨンスホブキンス大學は一箇人の私財を擲て設立したるの大學にあらざるやかのシカゴ大學も亦た一箇人の私財より成立したる大學にして亦たかのスタンフォード大學の如きも然りとす我國の金穴は固より米國の如くならずしかれども相合して以て事お當らば一箇の大學を設立するに於て左程困難にはあらざるべしかくして處々に私立大學の設立を見るに至らば獨り文化の靡然として海内に逼きのみと曰はんや大學に於て程度の高尙なるは頗る佳なりしかれども大學的教育の普及に於て數量の多きも亦た洵に必要なりと信ず大學の設立は官民共力して之れを當らざる可らざる也

日、米間の 新航路

世界を一周すと稱すれば、太だ困難なるが如くお感せらるゝが、實は

平地の上を行くが如きのみ見ずや、英京龍動より發せるビー、オー會社の汽船は、ジブラルタルを經、マルタを經、スイズの運河を經、ボムベ一を經、コロムボを經、シンガポールを經て香港に達するは四十四日のみ、而して其の里程を問へば實に九千八百哩なり、何んぞ況んや我れより對岸なる北米合衆國を航するに於てをや、試みに我が横濱を起點として、世界一周の日數、里程、賃銀等を算すれば、

地名	里程	日數	賃
横濱、香港間	一、八〇二哩	八	七十 弗
香港、シンガポール間	一、四三七	七	六十
シンガポール、コロムボ間	一、六五九	七	九十
コロムボ、ボンベ一間	八七五	四	四十
ボンベ一、アデン間	一、六六四	七	九十

アデン、ポートセツト間	一、三九五	七	百二十
ホロトセツド、マルタ間	九三五	四	三十五
マルタ、ヂブラルタル間	九八一	四	三十
ジブラルタル、龍動間	一、二九九	五	四十五
龍動、ニューヨーク間	三、〇〇〇	八	百
ニューヨーク、桑港間鐵道	三、〇〇〇	六	七十五
桑港横濱間	五、〇〇〇	十八	二百

(此表ハ米國海員ハント氏による)

此他濠洲に赴かんにも、カナダに赴かんにも自由自在なるは、海國の明かに示す所、復た喋々の要なき也。然り而して此等の船舶は何國に依て、亦た何人に依て動かされつゝあるか、ハント氏は亦た表を以て教へて曰く、

國名	汽船の數	噸數	船價
英國	六、四〇三	八、二三五、八五四	五五〇、〇〇〇、〇〇〇
獨逸	七四一	九二八、九一一	六三五、〇〇〇、〇〇〇
佛國	五二六	八〇九、五九八	四八五、〇〇〇、〇〇〇
合衆國	四一六	五一七、三九四	四二〇、〇〇〇、〇〇〇

英國が船舶を以て世界に雄視しつゝあるは、今更ら言ふ迄もなき事なるが、合衆國が新進の國を以て航海國として世界第四の地置を獲得するに至りたるは、宜しく着目すべきの現象なりと信ず而して、今や米國は益々造船業を奨勵し、或は力を海員養成に用ひ、或は船舶に保護金を與ふる等、百方知らざるはなし。現に同一の會社に屬する船舶にありては、米國にて製造したるものには保護金を與へ、英國に於て製造したるものには與へざるか、如きは固より英國を嫌ふ米人の

所措として深く怪しむるが亦た以て米國が如何に自國の造船業を奨励しつゝあるかを見るべきなり合衆國は東西南の三方を繞りて皆な水なり況んや富の程度頗る高ければ其の航海業の愈々益々發達し來るは勿論なりとす願みて我が櫻花國航海業の如何を見よ其の濠洲に航するは一歳何回ぞ其の支那海に航するは一歳幾回ぞ對岸なる北米合衆國若しくはカナダにすら航行する船舶なきなり是れ豈に四面海を繞らしたる島帝國の恥辱にして亦た空しく大利益を看過するにあらずとせんや責めて航海業擴大の第一着手として横濱と北米との間に於ては是非同胞の手を依て運轉せらるる船舶のあらんことを願はずんばあらざるなり

今や横濱と桑港との間にはオー、オー會社ありて勢力を逞ふし且つ郵便船として合衆國政府の保護するものなれば我れにして航路を

此際に関き以て彼れと競争を試みんが如きは到底力及ぶべくもあらず然りと雖も桑港のみが北米合衆國太平洋に於ける唯一の要港にはあらざるなり桑港を南に距る一百哩許りにしてサンデーゴと稱する一港あり固より桑港の比にあらずと雖も來世に於て屈指の都市となるべきは疑ふ可らざるなり何ぞ速かお布哇を経てサンデーゴ港に航路を開かざる

横濱より桑港間の航路五千哩日を費すこと十四日若しくは十八日其の見る處のものは唯た蒼々たる天と水とのみ偶々單調を破るは鯨の浮ぶか如きに過ぎず余惡詩あり

太平洋上作 節三

目斷大洋万里濤。不看一鳥入天翔。何來飄蕩輕於葉。潮氣逼人帆影高。

夕照抹紅劃地平。晚涼好遇海風清。讀殘一卷沙翁集。待月舷頭坐二更。
 大魚躍去不知名。北斗當舷滅又明。此夕蛟龍應出舞。笛腔入破一聲聲。
 無理に漢字を駢列して、所謂詩なるものとせば、興味あるが如く聞ゆ
 れども、實際は太だ然らず。其の上等室は少數の白人と時としては
 一二の日本人若しくは支那人を見るのみおして、其の下等室は毎
 船十數人の日本人を見るが、其の大多數は支那人にして、彼等は盛か
 んに賭博をなし、器々騒々堪ゆ可らず。之れを要するに十八日の航路
 は洵お無聊の極おして、何故に一日はかの如く永きやを疑はしむる
 也。然れども無聊を訴ふるは、船客の事のみ、名譽と利益とを目的とし
 て航海に従事する者にありては、十八日の海上決して無聊を覺ゆる
 の理なきなり。餘談は措き、熟らく考ふるお日米間お開通すべき航
 路は、横濱を發して、先づ檀香山なるホノル、に寄港するを佳とす。何

となれば、在布哇の日本勞働者は、其の數二萬の上お出づ。且つや勞働
 者の往還頻りなれば、此際の往還は日本船を用ひて、大利益あるは疑
 ふ可からざるなり。余の前月布哇より歸るや、同航に三百人の歸朝者
 あり、而して此船は米國より來りしものなれば、下等室中好良なる處
 は皆な支那人に占有せられ、三百の同胞が眠食せしは、甲板より三層
 下の室おして、空氣の流通充分ならず。且つ布哇の近海は暑氣太だし
 くして、一室に三百人も同居せし事なれば、殆んど堪ゆ可らざる有様
 なりき。況んや外國船に搭すれば、船賃一人卅五弗なれば、之れを我が
 三池丸等が勞働者を往還せしむる廿五圓の船賃に比すれば、彼等勞
 働者に取りては、少からざる相違ありと云はざる可らず。彼等勞働者
 は、何を苦んでか、取扱の悪き食物の悪き船賃の高き外國船に搭
 るや、これ日本船の來るを俟つの不得策なればなり。勞働者を往還せ

しむるが如きは固より大事にわらずとすも相互に於ける貿易品を運搬するに我が船舶を以てす其の利寧ろ言ふを須ひざるなり想ふに横濱を發してより三日目おして貿易風を利用し八日目おて布哇に寄港し品物を卸ろし且つ積み込み再び貿易風に駕してサンデーゴお向ひ貿易風を利用せば石炭の消費上大利益あり此處に碇泊すると幾日若し能ふべくんば墨國アカボロコ若しくはサンブラス港お向ふべし而して其の歸航に至りては或船は再び來路を取るも可なり或船はサモアニューゼーランドの諸島を経てシドニーメルボルンアデレード等に寄港するも可ならん要するに利益は之れを永遠お期すべく手を着くるは一日をも遅ふす可らず

夫れ斯の如く我が船舶をして太平洋を縦横お往還せしめ航海上の名譽と利益とを取得せしめんは先づ手を植民事業より着くるを要す

す抑も事物は必要の箇處に向ふて發達を遅ふするなり漁夫の巧みに網を投づる獵夫の巧みに銃を放つ彼等は網を投せざる可らざる銃を放たざる可らざる必要あればなりされば航海業をして發達せしむるの策の如きも必要上より之れが開通を促がし之れが發達を促さば必要は必要を生じ發達は發達を促がし遂に日本をして東半球に於ける第一の航海國たらしむるに至らんか必要上より航海業の發達を促かすとは何ぞ曰く先づ海外隨處お植民人を送るなり

抑も日本人の住居する處おは日本の品物需用せらるゝは當然の事に於て日本人の住居せる處より本國に向ふて品物を送致するも亦た當然の勢なり且つや日本雜貨の如き何の地おか需用に投せざる處おらんや日本と布哇との間お日本船の往還するに至りしも而して夫れが濠洲迄も航路を延長したるは布哇に於ける日本人の多數が

自然に航路の開通を促かしたりと云ふも決して太だ不可なりと云ふ可らず近時ニユカレドニヤに日本船の煙を見るも亦た洵に移民の力之れを致したるなり米國に於ける鐵道の延長を考ふるに米國の大原野遺利の拾ふべきもの太だ多し唯だ道路遼遠にして舟車の利便なく農産品若しくは製造品を都市に運搬すると能はざるを以て、開拓に従事する者なしされは若し鐵道にして開通せば忽ちにして到る處ふ都會を現出し爾來兩者相待て益々繁榮を來たす也されば若し我が植民人にして所謂亂點主義を取り墨國に南米に南洋諸島に散在するあらば我が船舶は必要上次第に航路を擴張し兩者相俟ちて愈々益々繁榮を極むること猶ほ合衆國鐵道の如きあらん故に云ふ航海業を擴大せんと欲せば先づ植民人を送るに若かすと而して先づ第一着手として布哇を経て北米サンデーゴふ達するの航路を

開通し而してサンデーゴより墨國に到るの航路を開通するは日本擴大策の上より見て目下の大要務なりと信す見ずや現お日米間を住還しつゝあるカナタ汽船會社若しくはオー、オー會社の船舶は船長運轉士機關士等は皆な米人にして水夫、コック、ボーイ等は皆な支那人なり而して日本人は偶々ボーイに一二あるを見るのみなり海國男子豈に支那人お劣るべけんや豈に米人に劣るべけんや櫻花國は航海國として世界の一二に居らざる可らざるなり櫻花國民は宜しく旭旗を翻したる巨艦を以て五箇の大洋を横行すべき也。

銀貨問題

請ひ問ふ列國有する所の貨幣若干ぞ博士チヨヂ、プラナム氏の統計は之れに答へて曰く

國名	金	銀
北米合衆國	七〇二、〇一八、八六九 弗	四八二、〇七二、三四六 弗
英國	五五〇、〇〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇
佛國	九〇〇、〇〇〇、〇〇〇	七〇〇、〇〇〇、〇〇〇
獨逸	五〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一四五、〇〇〇、〇〇〇
白耳義	六五、〇〇〇、〇〇〇	五五、〇〇〇、〇〇〇
以太利	一四〇、〇〇〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇、〇〇〇
瑞西土	一五、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇
希臘	二、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇
西班牙	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一二五、〇〇〇、〇〇〇
葡萄牙	四〇、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇
澳洵帝國	四〇、〇〇〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇、〇〇〇

ニールセーランドズ	二五、〇〇〇、〇〇〇	六五、〇〇〇、〇〇〇
スカンデナヴィヤン同盟	三二、〇〇〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇、〇〇〇
露國	一九〇、〇〇〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇、〇〇〇
土耳其	五〇、〇〇〇、〇〇〇	四五、〇〇〇、〇〇〇
濠洲	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇〇
埃及	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇
墨國	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇
中央亞米利加		五〇〇、〇〇〇
南米	四五、〇〇〇、〇〇〇	二五、〇〇〇、〇〇〇
日本	九〇、〇〇〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇、〇〇〇
印度		九〇〇、〇〇〇、〇〇〇
支那		七〇〇、〇〇〇、〇〇〇

カナダ

一六、〇〇〇、〇〇〇

五、〇〇〇、〇〇〇

ゼ、ストレーツ

一〇〇、〇〇〇、〇〇〇

キューバ及ヘーテ

二〇、〇〇〇、〇〇〇

二、〇〇〇、〇〇〇

合三、七二五、〇一八、八六九

三、八二〇、五七二、三四六

なりと。經濟學者は云ふ、金貨本位、銀貨本位、兩貨本位と、議論紛々として其の歸結する處を知らず。然れども世界經濟の大勢が滔々として金貨本位に傾きつゝあるは事實なりとす。これ實に末世に於ける經濟社會ニ大恐怖、大紛亂を興ふるものと云はざる可らず。請ふ米國の銀貨問題より觀來らんか。

抑も米國大統領を苦め、米國々會を苦め、米國民人を苦しめ併せて世界の經濟社會を苦しむるは銀貨問題なり。先づ試みに米國貨幣の依て來る所の畧概を語らんか。初め米人の新天陸に植民せしに當りて

や、所謂貨幣なるものなく、隨て幣政として視るべきものなきや勿論にして、唯た理財學者の所謂物々交換の時代を代表して、鹽、煙草、貝等の諸物を以て物價の表準、交換の媒介物となし、植民政府も亦た認め以て流通せしめたりき。既にして植民地は益々發達し、追々銀貨の流通を見るに至りしが、當時の銀貨なる者は、大抵西班牙のものなりとす。故に此時は尙ほ未だ合衆國に於ける、貨幣鑄造時代にはあらざるなり。抑も合衆國に於ける、貨幣鑄造の權輿を釋ぬるは、今より殆んど二百五十年前、即ち千六百五十二年に在りとす。而して始めて貨幣を鑄造せしは、實にマサチセツ、州に於ける植民地に於て之れを見る。然れとも米政府が貨幣鑄造條令を公布せしは、實に千七百九十二年にあり。當時英政府は植民地に貨幣の鑄造を公許せざりしを以て、かの獨立戦争までは、貨幣鑄造に關して、面白き歴史を有せざり

しなり。獨立戦争の時に際し、軍資固より大缺乏を告げしを以て、必用上紙幣を發行せしが、獨立戦争の將に其局を結ばんとするの頃に當りてや、かの紙幣は全く價格を失ひ、如何ともす可らざるに到れり。ペラテヤ、ウェブスター氏曰く、斯的の困難は米人をして他の困難より數層の激烈を感せしめたりと、以て當時の幣政的困難を推想するに足る。當時聯盟の條章に之あり曰く、各州は皆な各々貨幣鑄造の權利を有し、而して國會も亦た同一の權利を有す、而して貨幣の体面及び定量等は、國會之れを定むと。かくて政府は負債償却の方策として、金銀兩貨を發行せしが、其の重量を定むるや、金貨は銀貨より價格を有するととなりて、人々金貨のみを愛重するの傾向を生じ、金貨を貯藏せしを以て、銀貨のみ獨り市上を流通するとはなれり。是に於てか千八百三十四年、及び同三十七年の兩度に於て、法令を出して爾後鑄造

の金貨は重量を減して、寧ろ銀貨は金貨よりも價格あるべからしめたりき。然れどもこれ前門虎を防で、後門狼を容るゝの拙策にして、猾商は頻り銀貨を買占め大に金融の不便を來たしぬ。千八百五十三年頃までは、かくの如くにして、貨政上の不幸打ち連されしが、立法家は遂に英國を倣ふて五十仙以下の銀貨の重量を減じ、僅かに平準を保つを得たり。而して今や自由鑄造も是認せられ、實行せられつゝあるあり。想ふに銀本位は以て幣政社會の大王たるべきか、金本位は以て銀本位を壓すべきか、抑も兩本位の制度を可とせんか。リカドゥは有名なる理財學者なり、而してかれの意見に従へば、單本位の制度を可とし、而して其の本位は銀なりとす。其の説の根本は、銀の産出は金より夥多なれば、若し金を以て本位とせば、遂には貨幣的缺乏を告ぐるの患あるも、銀ならんは、この患なしと云ふにあり。これ蓋し動かす可ら

六十二

さる大理窟ならん。試に見よ。世界の商業は、日進月將し、而して其の人口も亦た日進月將す。人口にして日進月將し、商業にして亦た日進月將せば、社會は隨て夥多の貨幣を要するに至るは必然の勢なり。固より信用手形の如き、紙幣の如きものなきにあらざるが、これ等は實に貨幣を主腦として製造したるものなれば、是非とも之れに對するの實貨なかる可らざるは、言ふ迄もなき事なりとす。既に然り故に社會愈々進歩して愈々夥多の貨幣を要するは勿論なりとす。是点に於てリカドゥの説は確乎として動かす可らざるなり。且つや、金貨が銀貨より貴重せらるゝは法律の力のみ。若し夫れ法律にして金と銀とに對して同一の待遇を與ふるか、然らずんば金貨に與へつゝある待遇を以て却て之れを銀貨に與へ見よ。恐くは金貨と銀貨とは其の地置を顛倒せんが。米國の貨幣制度は茲處に一着を誤ると共、おかの普佛戰爭

以來お於ける、金銀貨の關係は、米國を苦めて已まざる也。憫むべし、各國皆な金を重づると銀よりも大にして、嘗て西班牙王の墨國に於て大銀山を占むるや、金銀の割合をして一と七たらしめ、且つ英に在ては永く一と十六との割合を保ち、佛に在ては一と十五半との割合を保ち、獨逸お在りては一と十五との割合保てり。これ實に銀貨を市場より放驅するの愚策たるを知るや知らずや。

顧みて篇首に掲出したる一表を按せよ、列國中貨幣の夥多なる合衆國お及ぶ者なく、且つ米國の商業は世界に於て重要な地置に立ちつゝあるは、隠れもなき事實なれば、若し合衆國にして斷然方針を定め、歐洲の金貨國にして如何なる變動の經濟上お起り來るあるも、敢て顧慮する所なく、銀貨の自由鑄造を成し居らば、宇内に於ける經濟上の形勢、夫れ遂に一變して米國の利益となり來るや必然也。米國は實

に世界經濟上の死命を制するに足るの地置にあるものと云ふも不可なきなり。或は曰く自由鑄造は需要高より超過したる銀貨を鑄造し爲に經濟社會を激變を起し來らんとこれ亦た一理なきにあらざる。然れども合衆國に於ける從來の經驗を考ふるに人口の増加と商業の進歩とは殆んど年一億万弗の貨幣を需用する割合なり而して年々産出する貨幣としての原料は實に六十萬弗を越ゆる能はずされば此點に於て確に四十萬弗の不足あるを見る自由鑄造何ぞ銀貨の需用より超過するを恐れんや永遠に於ける公衆の満足は自由鑄造にありと信す一旦の變動に驚きて自由鑄造を止むるが如きは米政府の大失策なりとす況んや歐洲各國の一致を待て金銀の平準を保たんと試むるが如きは愚の至りにあらずして何ぞ或は曰く銀貨の自由鑄造は金貨を國外に放逐すとこれ亦た一理なきにあらざるが細

思せば無用の心配たるを免かれず何となれば永久に於ける貿易商業の關係は遂に金銀貨をして平準を得せしむべければなり或はグレイシャム氏の所謂悪しき貨幣は良き貨幣を海外に追ひ出すべしと云へる言を引き來りて銀貨自由鑄造を非難すべけれども自由鑄造的の銀貨は決して悪質のものたるを要せざる也悪質のものたるを要せずんば良質の貨幣を國外に追ひ出すと云へる學理上の規則は當てらざるべきなり或は若し米にして斷然歐の經濟社會と相關係せず汝は汝たり我れは我れたり的主義を以て銀貨の自由鑄造をなさば歐洲との貿易に大なる影響を生じ爲めに米の貿易製造等に大なる變動と衰頹とを興へ以て商業家銀行を等苦しめんとこれ亦た無用の心配なり今や米と諸外國との貿易高を按づるに年に二十億万弗を越ゆる克はず而るに國內の賣買高に至りては殆んど之れ

に十倍す。豈に重きを二十億万弗お置て輕きを此れお十倍するものに置くべけんや。之れを要するに銀貨本位は來世お於ける世界各國の本位たるべき資格あるものにして目下の米國に在りては特に必要のものたらすんばおらずと信す。

既に米國おして以上の方進を取りて進むとせば我れは宜ろしく米國政府と協議して貨幣を同一にし、且つ歐洲お於ける銀貨國及び南米の諸國に説きて同一の貨幣を鑄造せしむべきなり。これ日本擴大策の上に於て頗る緊喫の問題となす。抑も日米間の貿易が歲々に膨張するは統計の明示する處にして、且つや墨國及び南米の地方に向ふて我が民人を移さざる可らざるは天下の共に主張する所なり。然らば即ち此際に向ふて同一の貨幣を流通せしめ置くは百年後の長計にあらすして何ぞや。況んや今日と雖も銀貨國にして同盟一致せ

ば、航として一方に雄視し以て金貨國と相下らざるを得るに於てを要するに米國の銀貨問題は對岸の火災にあらす南米移民、日本擴大策に志ある經濟家願くは三思せよ。

米國お於ける都市的生活

一國には一國の特質あるが如く、一都市おも亦た一都市の特質あるを見る。試みに見よ、東京と、大坂と、京都と、仙臺と、鹿兒島と、熊本と、名古屋と、水戸と皆な各々相異りたる特色を有せるおあらずや。北米合衆國の各都市も又たかくの如く、單お其の外形より觀察を下だす時は、彼れと此れとの間太だしき相違あるを見ず。就令ばニューヨーク市の如き大市はアラメダの如き小市を幾箇となく集めたるが如く、アラメダの如き小市はニューヨークの如き大市の一小部を分離した

るが如きのみ見ずや、其の都市と稱する箇處は、停車場の集まる處、旅館の集まる處、公園のある處、馬車、線車、電車等の走る處、劇場の多き處、製造場の多き處、教會の多き處、商賣の繁昌する處、貧民の群居する處、金満家の多き處、旅人の集る處、大厦高樓の立ち駢ぶ處、新聞社の多き處、大抵斯の如きに過ぎざる也。是に於てか一都市を遊び、案内記を手にして、或は案内者に導かれて、公園や病院や、學校や、書籍館や、傑士の記念碑や、其他種々のものを見物する旅客ありとせよ、彼の人や、遂に斯市も彼の市も到る處、其の相同じきに厭き來らん。かくて彼の人や、去りて耳目を天然の大妙工なるナイヤグラの大瀑、ヨセミテールの大瀑、ユタの大鹽湖等へ轉じ、國に歸るの後、親戚舊故相集り、食卓を圍みて晚餐を喫するの際、端なく話頭に上り來るは、前者にあらすして寧ろ後者にあらんか。然りと雖も細かに都市の外形的發達即ち人口の

増殖、製造場の増加、面積の膨脹、商業の盛衰等を措き、一層眼光を裏面に透して、所謂其の特質なるものを觀察する時は、頗る面白きものあるを覺ふ。知るを要す、都市の特質は、玻璃窓の外にあらす、街道の上にあらざるを、各市の特質を遺憾なく抽出せんは、固より凡眼凡手の能くする所にあらす、されど試みお聞け。

夫れニニューヨーク市は太西洋沿岸の大都會、大要港おして、北米合衆國中、最も繁盛を極むる所の處として知らるゝなるが、斯市は、大都會、大要港として知らるゝ通り、商業的、財貨的の都市なりとす。今や正に開龍大博覽會の開設場として、五世界各處より種々なる人種、種々なる人物の群集しつゝある、シカゴ市は、北米合衆國に於ける製造の中心として、工業的都市とも稱すべきなり。フヒラデルヒヤは、平和的の都市おして、ポストンは、教育的なり、ワシントンは、最も國粹的にして、セ

セントルイスは農産販賣的の都市なり。サンフランシスコ市は建設以來日を経ること多からざれば未だ特質の太だ顯然たるものなし。雖も大平洋沿岸に於ける最良港チカゴ市以西に於ける最大市なれば其の商業其の工業日を追ふて進歩し、斯市の太平洋沿岸に於けるは猶ほニューヨーク市の大西洋沿岸に於けるが如きものあり故にサンフランシスコ市を目して西部米國に於ける商業の都市、財貨の都市と云ふも不可なからむ。而してかのソルトレーキ市に至りては、何にどか云はむ其の風景は佳なり、其の市街もまた不潔ならず、而して斯市は實にモルモン教の本據なれば、敢て特色と云ふに足らずと雖も、斯市を稱して縦覽的の都市と云はむか、尙ほ別語を以て現せば、ニューヨーク市とサンフランシスコ市とは富を土臺として立ち、フィラデルヒヤ市は家族を土臺として立ち、ポストン市は學藝を土臺として立ち、

ワシントン市は官省を土臺として立ち、シカゴ市は内國的商業を土臺として立ち、ソルトレーキ市はモルモン寺院を土臺として立つ。尙ほ別語を以て現せば、ワシントン市は禮法的小して、ニューヨーク、サンフランシスコ等は放逸なり、フィラデルヒヤ市は快樂的にして、ポストン市は博愛的なり、更らに他國の都市と比較せば、ニューヨークは蓋しロンドンの如くにして、ポストンはアゼンス的ならむ、シカゴは大坂的にして、サンフランシスコは横濱的ならむか、亦た思ふ、ポストン市はユニテリアンを學ぶによく、フィラデルヒヤ市はクエーカー宗を學ぶによく、ニューヨーク市はカソリックを學ぶによく、サンフランシスコ市は宗派の何たるに關せず、又たかの暴富家を見るに暴富家の多き固より何國も北米合衆國に及ぶべきものなけむ、赤手を揮ひ、僅々十數年間、幾千萬の大分限者となりしが如きは、敢て希有にわらず、かの鐵道

王と稱せらるゝものゝ如き以て見るべき也。就中暴富家の多きカリフォルニア州を以て第一とす。カリフォルニア州は新開の地にして、今より四十餘年前は原野漠々、狐騷り兎躍りたる所謂禽獸の樂土にてありき。然るに一たび金鑛の發見せられてよりや、冒險者四方より集り來りて遂に今日の繁華を成し、爲めおかのサンフランシスコ市の如きは居然として米國屈指の大都會となりし也。されば當時僥倖にして金鑛等を發見したる者、若しくは無代價を以て數万エーカーと云ふが如き大原野を占有し、開拓したる者の如き、其の初め殆んど無宿無産の一匹夫も、今は實に堂々たる大厦高樓を築き、堂々たる金満家として、セントルマンとして市政に、州政に、若しくは國政も、或は商業に、農業に、輕からざる勢力を有しつゝあるあり。暴富家の多き實にカリフォルニア州を首位となす。而して彼等の本宅は多くサン

フランシスコ市にありとす。されどニューヨーク市に至りても、暴富家亦た決して少からず、かの鐵道大王の如き、鐵道小王の如き、ニューヨーク市に住する者幾人ぞ、されど暴富家の數は比較上サンフランシスコ市に及ぶ克はざるなり。

各都市各々特質を有するも、皆な北米合衆國內に散在し同一政府の下に管治せらるゝものなれば相似たるは勿論なり。かの東京かの大阪、かの金澤、固より相似たる所なしとせず。合衆國の各都市を通して人目お觸るゝは猶太人と獨逸人とが次第お増加し、而して彼等が商業の次第に進歩する事これ也。彼等は固よりジユ人として若しくは獨逸人として米國に移住し、商業するおはあらず、勿論米國お歸化し、米國人として米國に住居し、生死するなれば、敢て米國を蠶毒する事、假言

へば歐米人が我が櫻花園に來り、日本化せずして却て我が櫻花園を歐米化するが如き奇觀なき也。試みに見よかの獨逸より佛蘭西より、以太利より移住し來りたるものにして、四十歳、五十歳の大漢尙ほ且つ綴字書を學び、讀本の一二を習ふもの比々然りとす。歐米人の我が國に來る者、好事者あらざるよりは、自ら進んで日本語を學習せず、實際、商賣等總て自國の言語を用ふ。若し夫れ日本を以て歐米化せしめんとならば、大によし苟も日本國を日本國の日本國として天長く地久しく日本國の面目を保有せんと欲せば、豈に深慮する所なくして可ならむや。彼れにありてもかのジユ人は、敢て基督教の禮に従はず。日曜日と雖も店を開て商賣に従事し、クリスマス等の如きも平然として管知せざるが如し。されど彼等は決して米國を害すとは云ふを得ざるなり。何となれば彼等は交際に於ても、言語お於ても、總て米國

的にして唯だ宗教のみ基督教にあらざれば猶ほ我が日本國內にありて一は神道信者、一は佛教信者なれども、更らふ相害せざるが如きなり。唯だ夫れ獨逸人とジユ人との繁昌し來るは、事實にして、就中商業的の都市即ちニューヨーク市の如き、サンフランシスコ市の如き、若しくは製造的商業の中心なるシカゴ市等に於て太甚なりとす。これジユ人は固より商賣蓄財的の民人にして、かのシエクスピヤが「ベニス商人の如きを一讀するも、ジユ人の面目を窺ふと難きにあらず」貧富の隔絶は何代おも、何國にも免る克はざる所なるが、田舎に於てより都市お於て然りとす。是に於てかかの共產黨の如き者、若しくは過激社會黨の如き者、大に憤怒猜怨の氣燄を迸出し、破帽、破衣、日曜日、最も往來繁き街道に立ちて大聲疾呼、連りに分財の不公平を慷慨し、富人の跋扈を慷慨し、立法の不完を慷慨する者少からず。想ふにニユ

ヨーク市、シカゴ市の如きは共産黨、社會黨の大俱樂部あるのみならず、露國の虛無黨、愛蘭土の獨立黨、獨逸の社會黨等の俱樂部あれば、切齒して富豪の玻璃窓より彩燈の戶外に漏るゝを睥睨して過ぐる輩夥多なりとす。

言ふ勿れ、米人ハ風流心なしと言ふ勿れ、就中都市に住居せる者ハ風流心なしと、彼等が山を愛し、水を愛し、花を愛する、極めて深きものあり。若し夫れ日曜日天晴れ、氣朗かならむか、或は三々五々相携へ或は數十人相結び、山の顛、水の隈に行樂し、日沒せんとして尙ほ且つ歸るを忘るゝあり。且つや五六月の候に至れば、一家幾人、若しくは數家幾人相結んで山野若しくは河邊にテントを張り、晝は山に遊び、水を眺め、花を摘み、獸を獵し、或は讀み、或は歌ひ、夜は即ちテントの内に眠り、以

て悠々數月を費す者頗る多し。若し多く働く者は多く休まざる可らずとせば、米人の多く働く以て見るべきなり。或は風流心に富めるものとせば、彼等が風流心の少からざる以て見るべきなり。テントを張りて其内に讀み、其内に眠り、其の近傍に遊ぶ、我が少壯學生に在りて最も其の好適なるを信す。年々の夏期、我が學生諸士の山野、海濱等に遊する者少からず。何んぞ相結んで此法を用ゐざる。これ經濟と快樂とを併有する良策にあらずや。旅店に宿して朝寢防を爲すが如きは其の可なるを知らざる也。

米國の都市、到る處邪惡多し。賣淫婦の横行せざる處なく、酒肆の駢立せざる處なし。太だしきに至りては賣淫婦の家、公然窓を駢へて立つ所あり、而して其中ハ佛婦もあるなり、米婦もあるなり、獨逸婦もあるなり、日本婦もあるなり、支那婦もあるなり、西班牙婦もあるなり、愛

蘭婦もあるなり、かの如きは鹿叫山以西に於て最も多く、且つ其の酒肆
 の如きも、妖婦と蓄へて客を招くもの極めて多しとす。謂ふ基督教と、
 基督教此に至りて何する者ぞ。抑も基督教は大智なり、大權略家なり。彼
 れの教訓は千秋万古に亘りて愈々光輝を放つものあらむじかれど
 も基督教として米國に行はれつゝある者は腐敗したるなり。かれの會
 堂は堂々として聳へ立つなり。叩きならす鐘の音はしつやうに聞ゆる
 なり。まかれども人を感化するに於て何の益かある日曜日に至れば、
 最も美々しき衣服を着けて會堂に集るもの少からず。慎みて説教を
 聴く者少からず。而して其の虚禮ならざるもの幾何かある。彼等は賣
 淫婦の横行するを知らざるか。酒舗の夥多なるを知らざるか。勿論サ
 ルベーションアーミーと唱へ數十人の基督教徒列をなし、異様の服
 を着け、異様の帽を戴き、旗を立て、大鼓を叩きつゝ、市中を練り廻り、十

字街頭に留まりて或は讚美歌を歌ひ、或は説教をなすが、人は唯た奇
 異の事として立ち留まるのみ。夫れが基督教の感化を及ばずとは思
 はれざるなり。外人の日本に来る者、往々日本國の風俗が不徳に流れ居
 るを笑ふ。數月前の事なり。かの英人クレメント、スコットの如き、其の
 日本に遊んで米國に来るや、盛んか日本の不道德を説て止まず。就中
 かれが某新聞に投したる長篇の如き、讀むに忍びざるものあり。而し
 て某新聞の如き和して唱へ、喋々として日本風俗の卑賤なるを笑ふ
 こと數日なり。加之日本の事を記せる書物を繕くに、往々斯の如き
 もの少からず。現にナヲミタムラ(多分日本人ならむ)と云ふ者、日本花
 嫁なる一小冊子を著はし、日本人を罵嘲せしとあり。然ども細かに米
 國を見よ。就中其の都市を見よ。基督教は虚禮に流れて人心道德を繋
 ぐに足らず。賣淫酒舗、殺人盜賊、情死、詐欺等、我が日本より多くとも決

して少しと云ふ可らず。而るに徒らふ他國の事を喋々す、果して何の心ぞや。蓋し宣教師の中ふは學秀で、徳高く、仰きて以て一世の師となすべきものなきにあらず。唯た如何せむ、基督教の全體は滔々として虚禮虚式ふ流れ、一二の力以て挽恢する克はざるを要するに。米國に於ける基督教の感化力は猶ほ我國の佛教と異なるなきのみ。謂ふ米國の徳育は基督教にありと、外形は洵に然り、まかれども其實は多數の壓制、乃ち社會の制裁を以て徳義を維持しつゝあるなり。而して都市み於て最も太だしきを見る。

之れを要するに合衆國に於ける田舎生活は清逸なること猶ほ日本み於ける田舎生活の如く、其の都會に在りては煩忙なること猶ほ日本の都會の如し。都會には富豪も多し、亦た貧人も多し、愉快も多し、亦た

邪惡も多し、而して最も大なる都市に至りては、腐敗の邪惡の度最も多しと知るべきなり。

北米聯邦の國民的文學

國々特殊の性質を備ふ。其の特質の依て來る所を源ねるに、極めて遠くして且つ深きものあり。試みに見よ、宇内に星散せる、幾多の國々は、皆な其の地勢を異にし、氣候を異にし、山河の光景を異にし、其の他眼を舉げて眺る所、首を垂れて見る所、草木、禽獸等み至るまで、其の人類を圍繞せるものや、皆な相互に多少異なる所あるにあらずや。且つや國各々蒙昧時代の口碑を異にし、亦た風習を異にし、氣質を異にするが故に、而して此等の異りたる國風は、互に彼處此處み發達し來りたるが故に、今の地球上に森羅せる、日本と云ひ、英吉利と云ひ、佛蘭西と云

ひ露西亞と云ひ、獨逸と云ひ、支那と云ひ、アラビヤと云ひ、北米聯邦と云ひ、皆な各々他と異りたる特質を有して存立する事とはなりしならむ。苟も國其の國が國家の大義を全ふし、獨立の體面を全ふし、天地と共に悠久ならんと欲せば、而えて世界人文の開發に努むる所あらんと欲せば、必ずや斯の特質を保有し、發揚し、以て他の特質と摩擦し、衝突し、刺激し、刺激されしめずんばある可らざるなり。抑も文學は思想の精粹にして、思想の精粹は文學の上に顯はれて見ゆるものなれば、一國の無形的特質を知らんと欲せば、其國の國民的文學を見るより妙なるはなし。何となれば一國に於ける無形的特質は、有形的特質よりも一國を維持するに於て寧ろ層々の力あればなり。

北米聯邦や國を立て、より、二百餘年に過ぎず。且つや其の國民は英吉利より和蘭より、獨逸より、西班牙より、其他歐の各國より移住し來

りたる者とは云へ、今や實に居然たる一大國として、其の版圖は太平洋兩洋の間に擴かり、其の社會も、其の法律も、其の習慣も、大抵滑然として親和協合し了り、加ふるに、其れが物質的文明の進歩したること、洵に驚愕すべき程にして、今や尙ほ進歩の道途にあるが、其の速力の迅速なる、殆んど應接不暇あらざる也。試みに最も重要なる物質的進歩の總計を列擧すれば

聯邦に於ける鐵道業の進歩表

年號	資本額	哩程	利潤
一八八〇	二、七〇八、六七三、三七五、 <small>弗</small>	八二、一四六、 <small>哩</small>	一〇七、八六六、三三八、 <small>弗</small>
一八八一	三、一七七、三七五、一七九、	九二、九七一、	一二八、五八七、三〇二、
一八八二	三、五一一、〇三八、八二四、	一〇四、九七一、	一五四、二九五、三八〇、
一八八三	三、七〇八、〇六〇、五八三、	一一〇、四一四、	一七三、一三九、〇六四、

一八八四	三、七六二、六一六、六八六、	一一五、六七二、	一七六、六九四、三〇二、
一八八五	三、八一七、六九七、八三二、	一二三、三二〇、	一八九、四二六、〇三五、
一八八六	三、九九九、五〇八、五〇八、	一二五、一八五、	一八九、〇三六、三〇四、
一八八七	四、一九一、五六二、〇二九、	一三七、〇三三、	二〇三、七九〇、三五二、
一八八八	四、四三八、四一一、三四二、	一四五、三四一、	二〇五、二八〇、〇五二、
一八八九	四、四九五、〇九九、三一八、	一五二、六八九、	二二一、一七一、二七九、
一八九〇	四、六四〇、二三九、五七八、	一六三、四二〇、	二二九、一〇一、一四四、
一八九一	四、八〇九、一七六、六五一、	一六四、三三四、	二三二、二五九、八一〇、

北米聯邦に於ける商船の進歩

年號	噸數
一八五〇	三、四八五、二六六、
全 六〇	五、二九九、一七五、
全 七〇	四、二四九、七四〇、

全 八〇	四、〇六八、〇三四、
全 八八	四、一九一、九一六、
全 八九	四、三〇七、四七五、
全 九〇	四、四二四、四九七、
全 九一	四、六八四、七五九、
全 九二	四、七六四、九二一、

此他、電信線、電話線の延長、銀行及び其基本額の増加の如き、農産物の増加の如き、其の進歩の著大なる驚くべきものあるも、乾燥なる統計を列挙して讀者を煩はさるべし。唯た再言す、北米聯邦の物質的進歩は今後幾十年間は更らに停止せざるべき也。況んや現時開會中なる閣龍大博覽會の如き、固より世界万国の進歩を顯代するものなるが、北米聯邦の物質的、精神的進歩を刺激して愈々益々前進

八十六
せしむるは疑なきなり。夫れ然り然りと雖も、それが國民的文學お至りては、惜むべし。未だ堂々たる一大國を代表したる國民的文學として見るに足るものなく、國民的文學を有するの一點に於ては、我が櫻花園の右に立つ克はず。

若し夫れ社會の事尙は創初に属し、遺利の拾ふべきもの山の如き時、お際し、民人にして商業若しくは開拓等、お忙はしく、或は鐵穴の發見に忙はしき時代、乃ち人々が富を作るを以て、畢世の目的となし、彼れも此れも競ふて黄金、田園、船舶、大厦等を望みて走るの時に際してや、文學の發達は決して希ふ可らざる也。今日以前の北米聯邦は實に斯の如き國柄にてありし也。今日と雖も鹿叫の大嶺以西、寧ろ蜜質秘大河以西の諸州は尙ほかくの如き有様の下ありと云ふも不可なきなるが、さりとて、其の精神的文化が物質的文明の進歩と共に進歩し

來りつゝ、あるは明白なる事實ありとす。即ちかの高等教育場たる大學の次第に其の數を増すと共、著るしく學生數が増加するが如き或は種々の高尚なる雜誌が次第に増刊する、が如き、これ皆な精神的進歩の徵表と云はずして、何とか云はむ。

抑も國民的文學が發生し、生長する所以を原ぬるに、ただ微妙なるものあるを認むるなり。一、二大家の輩出するあればとて、これを目して決して國民的文學の勃興と見做す、克はざるなり。これ勿論國民的文學お於て最も重なる地置を占め、最も名譽ある所作を演ずるもの、おして、大家は固より尊ぶべく、敬すべく、重すべし、英人が就令印度を失ふも、シエクスピヤを失ふ可らずと云ふは、決して誇大の言にあらざる也。まかれとも概して國民的文學と稱するは、日を積み、月を積み、歳を積み、其間に何時となく自然に發生し、生長したるものを云ふ國

民的文學は、鉛細工師が鉛を以て忽ちにして毛唐人を吹き立て、忽ち
 おして小猫を吹き立て、亦た忽ちおして瓢丹を吹き立つるが如く、左
 様に手輕に、左様に迅速に出來上げ得べきにはあらざる也。想ふに北
 米聯邦が建國以來、學者、文人、詩家等を産出せしこと、一二お止まらざ
 るなり、見ずや、ウエブスターの如き博學の人を、又た見ずや、ロングフ
 エローの如き錦腸の詩人を、又た見ずや、アーピングの如き清麗なる
 文字を綴る文人を、其他、バンクcroftの如き大歴史を書きし人も、ホ
 イッテルの如き慈眼的の詩人を、バトリック・ヘンリーの如き雄辯家
 も、ビーチヨルの如き説教家も、エマーソンの如き哲學者も、ポアの如き
 狂詩人も、皆な北米聯邦の特産として、世界に誇るに足る者也。さりと
 て北米聯邦の國民的文學として、其間より一段の現象を抜き出さん
 と欲すれば、遺憾ながら、獨逸に於ける國民的文學の如き、或るもの、佛

國に於ける國民的文學の如き、或るもの、英吉利に於ける國民的文學
 の如き、或るもの、若しくは支那に於ける國民的文學の如き、或る者を
 確的にお抽出すること、克はざるなり、北米聯邦には固より全く國民的
 文學なしと云ふにあらず、種々の學者もあり、文人もあり、詩人もあり
 たれば、隱然として國民的文學は萬丈の光彩を吐出せんと待ちかま
 らぬつゝあるなり、況んや大學者なしと雖も、大文人なしと雖も、大詩人
 なしと雖も、苟も一國を建て、社會を形づくる所の處おは必ずや漸
 次に自然に或る特質を有せる國民的文學を發生するに於てをや、さ
 れば、ホーマーなしとて、シエクスピヤーなしとて、ギョーテなしとて
 モリエールなしとて、或はセルバンテスなしとて、ダンテなしとて、要
 するお以上の如き大詩人、大文人、大戯曲家なしと云ふと雖も、決して
 北米聯邦の國民的文學に於て欠くる所あらざるなり、況んや蜜質秘

大河以東の地は業既お鬱たる古國の風をなし富を造るに忙はしき人物の外別に高尙なる優逸なる思想を有せる人々の十年又十年次第に増加し來るの傾向あれば北米聯邦に於ける國民的文學の前途決して多望にあらずと云ふ可らざる也

夫れ然り然りと雖も北米聯邦の國民的文學の爲め竊かに憂慮お堪へざるものありて存す何ぞや之れを英國小説の流行となす抑も英國は貴族的の國柄なり階級的の國柄なり即ち上には王室を載き中には貴族を載き而して其次きに平民ありこれ米國の王室なく貴族なく太平洋の此岸より大西洋の彼岸お至るまで茫々漠々として廣大なる國土の上唯た一階級を以て形成せる大共和國自由平等の大本家本元なる北米合衆國と同一の論にあらず既に英國を以て階級國貴族國なりとせば就令人情は古今相同しく東西また異らずと云

ふと雖も立國の大本を異にするからには或る境遇よりは國民の或る思想の上に同じからざる所あるは問はずして瞭々也既に國民の或る思想に於て同じからざるものありとせば其の文學に顯はれ來りたる所のものやまた知るべきのみ就中其の小説お顯はれ來りたる所のものゝ如き大よ其の境遇を異にする所あり米の小説には伯爵なし焉んぞ伯爵夫人あらんや國王なし焉んぞ謁見の式あらむや所謂臣僕と云ふか如きものなし所謂居城の如きものなし頂天廣地仰て天に恥ちす俯して地に恥ちす將相固より種なし王侯豈に世々にせんや米國は實に之れを以て宇内お雄視するものなり米國の米國たる所以は實おこゝにある也これ尙は英國のかれが如きは英國の特色にして我が櫻花國の上に 万古不易の帝室を戴き下に四千萬の同胞國家と共お之を擁護し奉るこれ洵に我が本領なるが如し

さればもし英國にしてかれが如きを失ひ、日本にしてまた斯くの如きを失はば、日本若しくは英國の本色を失ひたると同じく、米國にしてかの特質を失はば、米國の米國たる所以を失すと云ふも不可なり。

今や英國の廉價小説一冊五仙十仙十五仙若しくは廿五仙位の紙表紙の小説は盛んに米人に讀まれつゝあるなり。唯た夫れ廉價なり故に貧人と雖も苟も目に文字あるものは容易に之を購讀するを得ざれば寒村僻地と雖も若しくは近時僅かに開拓に着手したる水隈山腹の地と雖も苟も人間の住する所皆な英國廉價小説の之かざる所なし。これ豈に米國を毒するものにあらざとせんや。若し讀者ふして識見ありたらん人ふは貴族的英國小説を繙讀すと雖も、更らに恐るゝ所なきがもし讀者にして薄志輕佻米國國質の何たるを辨知せず、

自由平等の何たるを辨知せずんば英國小説を愛讀するの結果は寒心に堪へざるものあらむ。就中婦人の如きは感し易き資質を有せるものなれば、貴族的小説を愛讀し、竊かお笑ひ竊かお泣きつゝある際何時しかに子爵夫人と呼ばれたくなり、女王陛下に謁見を玉はりたくなり。遂に自由平等の大特色を捨て、人為的階級國の英吉利を慕ふが如き奇觀を生ずるやも知る可らず。否、少しく其の傾向あるは米國識者の憂慮しつゝある所なり。想ふに米の國民的文學が益々發達し來らんするは、隠れもなき事實にして且つ其の小學校の如きも重要なる地置を占むる學科は、合衆國史と國語となれば、國民的思想の愈々高まり來るべきは論なきなるが他方より英國小説の流行を細察すれば、二百年前に干戈を操りて英軍を撃破したる合衆國は、二百年の後に於て却て文字を以て彼が爲めに撃破せらるゝの慮なし。

と云ふ可らず。文學の人を感化する極めて大なるものあり。志士豈に輕々に看過して可ならんや。

一夫多妻

米國の如き女權の強盛なる國土にありて尙ほ且つ公然一夫多妻教の現存を見る。豈お奇異の感なからんや。試みに其の一斑を揣摩せんか。抑も一夫多妻主義なるモルモン宗の本據は、ウタの鹽湖市あり。鹽湖市は風景絶だ美にして、近く大鹽湖とチヨルダン河とを控へ、且つや仰げば嶺は峨々たり、雪は皚々たるワサチ山脈の相連るを見る。此地は亦たウタに於ける鐵道、商業、製造、教育、交際等の中心にして、人口五萬、大厦高樓相連なり、而してモルモンの大寺院綠葉翠樹の間に

聳立す。就中建築に四十年の長日月を消費して、漸く數ヶ月前に落成したる大殿堂の如きは、宏莊美矣、人目を驚かして餘あり。されば四方より來り觀る者常に多しと云ふ。如聞らく一千八百四十七年、乃ち今より四十五年の前、ブリガム、ヤングなる者あり、イリノイ州より追はれモルモン教徒を率て此地に來り、木を伐り、野を拓き、遂に今日の基礎を開けりと。

抑もモルモン宗と云へば、一夫多妻なりとの連想は忽ち起り來るなり。然れども試みに彼等に問ふ、足下は若干の妻を有するやと、彼曰く一妻のみと、彼等亦た自ら辯護して曰く、一夫にして數妻を所有する者太た多からず、かのゼラル、クロソンの三十子の中、獨り長子のみ數妻を所有すれども、他子は一も然らざる也と、亦た薔薇花を以て周圍を取り圍みたる清逸閑雅の家あり、就て住者の何人なるやを問

ム、モルモン教徒なりと稱す。一夫多妻の悪魔も、亦た斯る花園を愛するやと疑ふ程なるが、主人に問へば、一夫一婦のモルモン教徒と答ふ。就中其の年少教徒にありては、常に公言すらく、吾等教徒の中、多妻を娶る者太た多からざるも、合衆國政府が、モルモン宗を遇するの苛刻なる何ぞ一ハ斯の如きやとしかれども如何せん彼等の教義は、明かに一夫多妻的なるなり機會にしてあらば彼等は一夫にして數妻を娶りて憚る處なき也。

かれ程までに見識高き米國婦人にして、兎に角世間よりは殆んど生ける女神の如くに取扱はれ居る米國人にして、何を苦んでモルモンの家妻となるか、これ一の疑問なり。余嘗て之れを一基督教傳道師に質す彼れ答へて曰く、人は同時に、二人の婦人を愛するを得る者にあらず。さればモルモン教徒が一夫にして數妻を娶るは、固より

天理正道に背違したる事なるが、婦人が之に従ふて同じくモルモン宗を奉ずるは、教育と衣食と之れを致す也。子見すや、到る處に、貧民の多きあわらずや、到る處に、無學者の多きあわらずや、貧にして且つ心中神若くは正理の觀念なし、焉んぞモルモンの犠牲とならざらんやと、これ固より平凡の理窟なれども、蓋し動かす可らざる事實ならむ。此際唯た疑ふは、之れに對する基督教婦人なり、モルモンの婦人と雖も、彼女等と同一の米國婦人あわらずや、然るも他は斯の如きなり、蓋し彼女等は常に婆娑として舞ふを解す、何ぞ其の足を廻らしてモルモンの婦人を濟度するの道を講せざる、彼等は常にお嘲々として歌ふを解す、何んぞ其の唇を以てモルモンの婦人を感化する道を講せざる、万里の波濤を越へて道を海外に傳ふ、其志太た美なり、國內の悪魔を潛伏するも、豈に亦た美ならずとせんや、何ぞ一度之を思はざる。然

九十八
り○と○雖○も○モ○ル○モ○ン○打○破○は○米○國○の○輿○論○に○し○て○政○府○も○民○人○も○決○し○て○等
閑○に○付○す○る○お○は○あ○ら○さ○る○が○唯○た○未○だ○其○の○目○的○を○達○せ○さ○る○の○み○而○し
て○其○の○目○的○を○達○す○る○能○は○さ○る○は○方○略○の○未○だ○足○ら○さ○る○あ○る○が○爲○め
り○余○は○固○よ○り○米○人○の○後○へ○に○從○ふ○て○モ○ル○モ○ン○を○非○議○せ○ん○と○欲○す○る○に
あ○ら○さ○る○が○熟○ら○し○モ○ル○モ○ン○教○が○據○て○以○て○立○つ○所○以○を○考○ふ○る○に○貪
欲○の○二○字○あ○る○が○如○し○こ○れ○一○基○督○教○傳○道○師○の○言○と○對○照○せ○ば○明○瞭○な
る○が○如○く○此○の○貪○欲○な○る○二○字○は○實○に○彼○等○が○中○堅○を○衝○か○ん○彼○の○教○徒○は
貪○欲○な○り○其○の○貪○欲○な○る○は○佛○教○徒○の○比○に○あ○ら○さ○見○よ○ユ○タ○の○地○は○地○豊
饒○に○し○て○鑛○山○あ○富○み○且○つ○や○氣○候○も○亦○た○悪○し○か○ら○ず○夫○れ○人○は○快○樂○を
好○む○な○り○他○よ○り○尊○敬○せ○ら○る○を○好○む○な○り○菓○子○屋○の○番○頭○も○百○万○圓○の
財○産○を○所○有○せ○ん○と○欲○す○る○の○志○あ○る○べ○く○牛○肉○屋○の○小○僧○も○大○統○領○と○な
る○の○望○み○な○し○と○せ○ん○や○さ○れ○ば○モ○ル○モ○ン○教○徒○も○此○の○豊○饒○な○る○地○に○住○し

且○つ○居○然○と○し○て○大○殿○堂○を○構○へ○且○つ○貧○民○の○尊○敬○を○受○け○且○つ○共○産○主○義
様○の○者○を○行○ひ○且○つ○一○夫○多○妻○を○以○て○大○鹽○湖○面○を○睥○睨○す○彼○等○の○得○意○想
ふ○べ○き○な○り○こ○れ○彼○等○が○四○面○基○督○教○的○楚○歌○聲○裡○あ○り○な○が○ら○泰○然○と
し○て○恐○れ○ず○重○複○的○婚○姻○を○な○し○て○憚○か○ら○ず○太○だ○し○は○十○二○妻○四○十○兒
を○有○す○る○に○至○る○者○あ○る○所○以○な○ら○む○彼○等○は○殆○ん○ど○我○國○の○貴○族○若○し○く
は○富○豪○の○如○き○な○り○何○ろ○其○の○一○夫○多○妻○主○義○の○相○似○た○る○や○蓋○し○モ○ル○モ
ン○宗○を○剪○除○せ○ん○は○枝○剪○り○鉄○の○能○く○爲○す○所○に○あ○ら○す○亦○た○斧○鉞○の○獨○り
能○く○爲○す○所○に○あ○ら○す○即○ち○區○々○と○し○て○一○葉○を○剪○り○一○枝○を○剪○る○の○苟○息
的○方○策○を○用○ぬ○す○先○づ○斧○鉞○を○用○ぬ○て○以○て○根○本○よ○り○剪○伐○し○加○ふ○る○小○鋤
犁○を○取○り○て○之○れ○を○掘○出○し○捨○棄○せ○さ○る○可○ら○さ○る○な○り○而○し○て○斧○伐○鋤○掘
的○方○策○は○政○治○的○作○用○よ○り○良○き○は○な○し○宛○も○支○那○人○拒○絶○案○の○如○く○宛○も
將○お○日○本○人○に○す○ら○蒙○ら○し○め○ん○と○擬○す○る○拒○絶○案○の○如○く○モ○ル○モ○ン○教○徒

放逐案を國會にて決議し、決行あるなり。支那人は米國の風儀を害すと云ふ、モルモン宗の米國風儀を害する支那人と孰れぞや。然れどもモルモン宗たる者、若し放逐案を國會に議するの時に際し、一般米人を冷笑して、公等の中には陰然たるモルモン教徒幾人ぞやと問はば、議會は果して何と答へん。免に角モルモン宗を剿滅するの策は實にこの政治的作用ありとするも、内部より之れを革新せんと務むるも、亦た志士の任なるべし。即ちモルモン宗の長老及び其の教徒をして、自ら其の非を覺らしめ、自ら一夫多妻主義を擲たしむると、これなり。若し兩者相待て事ふ當らば、庶幾くは功を擧ぐるを得んか。蓋し、モルモン宗にも人なきにあらず、米政府が陰に陽に同宗を苦め、亦た四圍の惡む所となりて、教義をユタの地方以外に擴大する能はざるを見、數年前墨哥其に赴きて、寺院を建て、堂々としてモルモン教

の擴張に従事せるものあり。最近の報み徴するに、勢頗る振ひ、歸依者年々お多しと云ふ。今や墨國は櫻花國同胞が頻りお注視して、第二の櫻花國を作らんと擬する處、徒らに小田原評議に歲月を費さば、彼れモルモン教徒をして我が物顔に蹂躪せしむ。豈にかの好封土惜む可らざらんや。況んや最近の報に曰く

合衆國に於て一夫多妻宗に對せる運動は、彼の奴隸廢止の運動と同様の興味ある也。されど今やモルモン教徒ハ大統領の命に従て、米國の習慣風俗を採用する事となれり。蓋し一夫多妻は之れより

米國に隠れんか。これ未だ以て一夫多妻的教徒の終没として見るべからざるが、強大なる法律の手にして、益々モルモン宗の頭上を壓し來るが如き事あらば、果してモルモンの逐放案にして國會を通過するが如き事あら

ば、彼等の、或者は米化する、あらむが、其の多數は、蓋し相卒て既にモル
モンの根據のあるか、の墨國に越くならむ、好封土、好封土、於戲愛むべ
きなり。

アングロサクソン語の來世

此篇は舊稿に属すれども米國々語の末世に論及せしも同一なれば掲げて參稽
せしむ

適者は生存す *fittest will survive* と云へる進化學の原則より斷案を取
りて、之れを各國々語の上に下たす時は、果して何國の國語が最も長
く生存し、最も長く繁榮すべきか、スラボニツク種の武力、五世界及ぶ
者殆んど稀れ也、是の國語最も長く、最も久しく世界上に跋扈せんか、
支那人、彼れ今や生齒極めて多く、寒凍を恐れず、炎暑を驚かず、五世界
殆んど支那人の居らざる處なし、是の國語最も長く、最も久しく世界

よ、残らんか、獨逸語は如何、佛蘭西語は如何、西班牙語は如何、余輩を以
て之を觀れば、アングロサクソン語こそ最も長く、最も久しく繁榮し、
生存すと答へざるを得ず、余輩は固より廣く各國の國語に通ずる者
おわらざれば、アングロサクソン語の性質や、組立や、語法や、句法や、音
調や、及び詩として、散文として、如何に他國語に優過するかを言ふ克
はず、若し深く研究せば、文法に於て、語法に於て、若しくは謹嚴の點に
於て、優美の點に於て、細密の點に於て、或は獨語、佛語、西語等に及ばざ
るやも知る可らざるが、而も十九世紀末期の大勢より、即ち平和的戰
争、尙ほ詳言すれば、殖民、商業、通運、製造等の狀況より、觀察せば、アング
ロサクソン語の來世たる極めて頼母しきものなくんば、あらざる。若し
夫れ世界の、大勢にして一變するに、あらずんば、我が櫻花國々語の如
きも、到底長く彼れを壓して立つ事、克はざるか。

從○來○佛○語○は○外○交○語○と○し○て○久○し○く○各○國○の○間○に○用○わ○ら○れ○談○判○及○び○條○約○
 文○の○起○草○等○は○大○抵○佛○語○に○依○り○て○現○は○さ○れ○た○り○し○也○然○る○に○最○近○サ○モ○
 ア○事○件○に○於○け○る○伯○林○會○議○を○見○よ○其○の○談○判○は○ア○ン○グ○ロ○サ○ク○ソ○ン○語○を○以○
 て○談○せ○ら○れ○其○の○條○約○文○も○同○し○く○ア○ン○グ○ロ○サ○ク○ソ○ン○語○を○以○て○書○れ○た○
 る○に○あ○ら○ず○や○余○輩○は○こ○の○一○事○例○を○以○て○固○よ○り○大○膽○に○も○ア○ン○グ○ロ○サ○
 ク○ソ○ン○語○が○外○交○語○と○し○て○佛○語○の○位○置○を○奪○ふ○の○兆○徴○な○り○と○言○は○さ○る○
 也○而○も○歐○州○の○中○原○に○於○て○從○來○用○わ○ら○れ○し○佛○語○を○用○わ○す○し○て○ア○ン○グ○
 ロ○ア○ク○ソ○ン○語○を○用○わ○り○し○は○亦○た○以○て○ア○ン○グ○ロ○サ○ク○ソ○ン○語○の○勢○力○
 を○知○る○に○足○ら○ず○と○せ○ん○や○
 抑○も○世○界○に○最○も○多○く○の○人○口○を○有○し○最○も○廣○き○封○土○を○有○し○最○も○製○造○業○
 の○繁○榮○し○最○も○運○通○の○頻○繁○な○る○國○の○國○語○を○以○て○來○世○に○望○み○あ○る○者○と○
 せ○ば○英○國○は○即○ち○斯○的○の○地○位○に○在○る○國○柄○の○一○に○し○て○今○や○既○に○ア○ン○グ○

ロ○サ○ク○ソ○ン○語○は○兩○半○球○に○蔓○延○し○居○る○ふ○あ○ら○ざ○る○か○サ○ー○チ○ャ○レ○ヌ○ウ○
 エ○ン○ト○ウ○オ○ス○チ○ル○ク○は○其○著○擴○大○的○英○國○に○大○言○し○曰○て○く○With a fair show
 of reason that not only has England planted a trans-Atlantic colony, but on even a la
 rger, finer scale, has stamped her principles of culture upon the son of Germann, of I-
 reland, of Scandinavian, France and Spain と○洵○に○ア○ン○グ○ロ○サ○ク○ソ○ン○種○族○の○全○
 世○界○に○蔓○延○し○た○る○は○隠○れ○も○な○き○事○實○に○し○て○今○後○に○於○て○も○益○々○蔓○延○
 す○べ○き○兆○候○あ○る○は○恐○る○べ○き○次○第○な○ら○ず○や○蓋○し○想○ふ○に○彼○等○は○盛○ん○に○
 陸○海○軍○を○飾○る○也○然○れ○ど○も○彼○等○は○敢○て○之○れ○を○以○て○其○の○民○人○を○四○方○に○
 擴○め○其○の○貿○易○を○四○方○に○張○る○の○唯○一○道○具○と○は○な○さ○さ○る○也○即○ち○彼○等○は○
 昔○羅○馬○人○が○用○わ○る○て○以○て○四○隣○を○征○服○し○た○り○し○短○劍○ペ○ル○シ○ヤ○人○が○輝○し○
 て○以○て○四○方○を○驚○か○し○た○り○し○長○槍○は○僅○か○に○装○飾○に○供○し○而○し○て○其○實○は○
 大○砲○の○煙○程○ふ○も○く○も○り○渡○ら○ざ○る○蒸○氣○及○び○小○銃○程○も○響○き○渡○ら○ざ○る○電○

氣の私語を以て次第に世界の各地に手足を伸ばし來る也。かくの如くおしてアングロサクソン語は世界到る處へ、かしこに話さるゝ也。

夫れ一盛一衰は數の免る可らざる所、豈に英國のみ、此數より漏るゝを得んや。されば星遷り、物換る其間には、其の工業は衰へ、其の商業は振はず其の所謂海上の女王として五大洋を横行したりし航海業も萎微退縮し、水晶宮は依然として舊の如くウエストミニストル、アベ―は昔にかわらず、高く半空に聳へ立つも、叩き出たす鐘の音は、音昔と同しからず、空しくテネソン、グラッドストーン等の遺骨をしてアベ―薄暗き處に、當年の繁昌を繰り言せしむるとなしと云ふ可らず。夫れ斯の如く英國其ものは、衰退するとありとするも、アングロサクソン語其ものに至りては、決して減縮せざるべきか。試みお思へアングロ

サクソン語は獨りロンドン府のある島國內のみ話さるゝにはあらざるなり。大西洋の斯岸にはカナダ及び合衆國あり、太平洋の一方には濠洲あり。好し不幸にしてカナダ、濠洲等の兩大土は英國に叛きて全然獨立するありとするも、其の言語は決して獨立すること克はざる。猶ほ今の北米聯邦の如くなるや、勿論のみ。然れば乃ちカナダ、濠洲、北米聯邦及び其他の殖民地おして益々發達せば、從てアングロサクソン語の發達膨脹すること當然の事ならずや。想ふにシエクスピ―ヤ、ミルトン、カライル、マコーレー、ロングフェロー、ホーソーン等の言語は永く世界に繁榮し、生存せんか、敷島の大和言葉は彼れを壓して立つこと克はざるか、比肩することさへも克はざるか。國勢の振縮と言語との關係、志ある者、豈お輕々に附すべけんや。且つやアングロサクソン種の年々歳々に増加するは驚くお堪へた

るものあり。

各國々語を使用する人口

千八百五十年	千八百八十年	同八百八十年
英 愛	同 七十五年	同 九百八十年に至らば
カ ナ ダ	三二、七四九、一六七	六七、六四〇、〇〇〇
英 洲	四、一三〇、〇〇〇 <small>(一八七)</small>	一五、三〇〇、〇〇〇
北米聯邦	二、五一六、〇〇〇 <small>(同)</small>	一八九、五〇〇、〇〇〇
他の殖民地	三、四〇〇、〇〇〇	四、一〇〇、〇〇〇
	五〇、五五三、八二九 <small>(一八八)</small>	六五〇、〇〇〇、〇五〇
	二七五、〇〇〇	四一〇、〇〇〇
佛 逸	同 三千八百萬	同 七千萬
獨 逸	同 三千四百萬	同 四千三百萬
佛	同 三千四百萬	同 四千三百萬

● 歐洲人種に於ける人口増加表

合	五五、八一六、五七〇	九〇、五六三、九九六	八五九、三〇〇、〇〇〇
獨 逸	三五、三九五、四九六	四二、七二七、三六〇	九三、五〇〇、〇〇〇
澳 太 利	一七、五三四、九五〇 <small>(一八五)</small>	二一、七四一、八八四	一五二、六〇〇、〇〇〇
合	五二、九三〇、四四六	六四、四七〇、二四四	一四六、一〇〇、〇〇〇
ホ ル ラ ン ド	三、〇七五、〇〇〇	三、八六五、四五六	八、五四六、九四六
ベルヂナム	四、四二五、〇〇〇	五、三三六、一八五	一一、九五三、〇五四
合	七、五〇〇、〇〇〇	九、二〇一、六四一	二〇、五〇〇、〇〇〇
デンマーク	一、四〇〇、〇〇〇	一、九〇七、〇〇〇	六、八五〇、〇〇〇
ノルウェー	一、三九〇、〇〇〇	一、八〇七、〇〇〇	五、四〇〇、〇〇〇
スウヰデン	三、四八二、〇〇〇	四、四二〇、〇〇〇	一一、三〇〇、〇〇〇
合	六、二七二、〇〇〇	八、一三四、〇〇〇	二四、五五〇、〇〇〇
露 西 亞	六〇、一二二、六七〇	八〇、三五〇、〇〇〇	二六九、八七五、三九〇
西 比 利 亞	二、八八七、一八〇	三、四四〇、三六二	六、一二四、六一〇
合	六三、〇〇九、八五〇	八三、七九〇、三六二	二七六、〇〇〇、〇〇〇
佛 蘭 西	三四、八〇五、〇〇〇	三六、九〇五、〇〇〇	四七、一〇〇、〇〇〇
伊 太 利	三二、四七二、〇〇〇	二七、四八二、一七四	五三、六〇〇、〇〇〇
西 班 牙	一四、五〇〇、〇〇〇	一六、五五〇、〇〇〇	二八、五一〇、〇〇〇

アンゲロサクソン語の來世

百九

百八

合

七二七、七〇〇

八〇、九三七、一七四

二二八、二〇、〇〇〇

百十

(此表はビーブ、シヒツマン氏 Deutsche Colonisation の冊八ページによる)

此表を按せよ、千九百八十年乃ら今より殆んど百年の後お至れば、
 シングロサクソン種は八億五千九百萬の多きに達するの割合にして、
 スラボニック種も日耳曼種も到底企て及ぶべきにあらず。然れども
 世おは流行病、洪水、地震、饑饉等の天災あるが上に、或は激烈なる戦争
 等の人災もなしと云ふ可らざれば、必ずしも此表と寸毫の差なき克
 ざるや勿論なるが、歐洲人口増加比例の大體は之れお依て察知する
 を得べき也。而して亦た併せて如何おアングロサクソン種が增加し
 來るかを察知するを得べき也。亦併せて如何にアングロサクソン語
 が膨張し來るかを察知し得べき也。蒙古種たる者、豈に深く思ふて計
 る處なかるべけんや。

外交上の三大失策

一國の大計を誤るの大なるは外交上に於ける退縮政策の大計を誤
 るの大なるより大なるはなし。内治と外交とは相待ちて相離る可ら
 ざるもの、力を一に專にして、他を輕するは、固より碌々たる凡庸政治
 家と雖も爲すを恥づ。然りと雖も外交の事たる一たび大計を失せば、
 地球上に於ける日本の勢力を失滅し、永く他國の牛後に従ふて、碌々
 の國たらざるを甘せざるを得ざる也。これ内治に於て策を失すると
 同日の論おあらず。内治の失計は之れを回復するの途容易なり。外交
 の失策に至りては、永く回復するの期なきを如何せんや。
 抑も明治以後の日本は、而して今後の日本は、寸なりとも尺なりとも、
 手を海外に擴げざる可らざるの地置に立つ者なり。今更ら繰り返

へすまでもなく、宇内の大勢は、西より、東より、北より、南より、日又、月又、月、駭々として、櫻花國の四圍に迫り来る也。知らずや、櫻花國の大計は、進路的にありて、退守的にあらざるを、若し夫れ我おして退守せんか、外は益々外人の輕侮を長じ、内は愈々同胞の志氣を萎微し、國家千秋の大計を誤るは、明々として白日の如し。即ち知るべし。今の日本おして、進路の方針を取るは、國土を擴め、同胞を擴め、言語を擴むるの爲めのみならず、他方に向ふては、實に國家を擁護する唯一の大方針たるを、ざれば、若し我れにして、益々進路の方針を取りて進むおあらずんば、山櫻朝日お匂ふ、美島國も亡國史中の一材料とならざるなきを知らんや。

熟らく、明治以後に於ける、我が外交史を案するに、失計の最も大なるもの二、而して、今更亦た將に一大失策を演せんとす。二大失策とは、

何ぞ一は、樺太島の交換事件おして、他は、臺灣征蕃の處置これ也。而して、將お演せんとする、一大失策とは、布哇島に於ける、日本人參政權の事、即ちこれ也。

輿地の圖を展して、觀よ、我が櫻花國は、亞細亞洲の東端おして、北西より、南東お延び、其形たる、宛として、蛟龍の昇天するが如きにあらずや。而して、今日の地形を以てするも、尙ほ浦港より、黃海に至るまでの海面を被ひ居るなり。されば、若し一旦緩急砲に藥し、艦を裝ふて起つが如きあらば、浦港以南、黃海以北にある敵艦にして、一尺だも、日本以東の太平洋面に出づる事、克はさらしむる也。況んや、若し我れおして、北の方、樺太を獲、南の方、臺灣を獲たらんには、我が封土は、宛かも、連珠の如く、樺太より、北海道、北海道より、本島、本島より、九州、九州より、琉球、琉球より、臺灣と、斯の如くに、首尾相連續し、南より、北にかけて、亞細亞大

陸の東端を縫ふを得たる也。果して斯の如く北緯五十五度より南方熱帯圏に至るまで亞細亞大陸の東端を連珠的に縫ふを得たらんには、亞細亞洲より見て、太平洋面に於ける至便至重の位置は、確に我が櫻花國の掌中お落ちたる也。果して斯の如く我れにして亞細亞洲お於ける太平洋の最好地置を占有したらんおは、苟も東洋に於て爲すあらんと欲する者は、皆な來りて我が歡心を求め我が同盟を希はざるはなけむ。然らば即ち我れは、瞑々の中に居然として東洋の盟主たる地置に立ちたるなり。惜むべし、當時に於ける廟堂の大官鉅公、何人も斯的の大計を策する者なく、使するに大久保甲東、榎本梁川等の如き達、眼雄才の好漢を以てせしも、尙ほ識慮の茲お及ぶ克はず。一は堂々たる一大島と幾箇の彈丸を連ねたるが如き小群島と交換し、他も當だに、出師費をだも償ふ克はざる、僅々たる償金を獲、以て時の廟

議も、亦た國民も、共に與に手を額にし、以て國の兩端に事なきを得たるを祝したるは、返すくも最大遺憾と云はざるを得ざる也。而も更らに想ふ、二島を失ふたる大損失は、尙ほ之れより大なるものなくんば、あらざるを想ふに、我が日本が北に於けるサガレン島と、南西に於けるフォルモサ島とをば、一は獲能ふべくして否な、獲て之を失ひ、他はむざくと之れを失ひたるは、日本國擴大の大計上に於て、極めて大なる失策たらすんは、あらず。試みに見よ、不幸にしてかのクリリ群島は露國お隸屬すとすも、サガレン島や我れの有たる元のまゝおして、且つや茲處に重鎮を置きたらんには、千島と露屬サイベリヤとの中間を横斷するを以て、千島は決して彼れが爲めお重大の用をなさざるは必然也。もし我れにして一使を遣はして云々する所おれば、僅少の金額を以て購入し得たらんも知る可らざりし也。況んや日本

擴大策の上よりして、手をサイベリヤに延ばさんには、連珠的一島の
 樺太を本據するの大利あるは、智者を俟て之れを知らざる也。果して
 斯くの如くならむか、露國が頼みて以て東洋に雄視しつゝある浦港
 の如きも、我れより見れば、囊中の一物のみ。更らに臺灣を見んに、若し
 彼の時より、我れ之れを獲、我が民を移して其の田園を開き、其港灣を
 繕るひ、重鎮を設けて威を遠近に觀し、商事を盛んおして財貨を集め
 たらんおは、其の我國を利す、果して幾何ぞや。況んやかのヒリッピン
 群島は所謂一羣飛んで渡るべきの間にあるに於てをや。フォルモサ
 は實に我をして手を南洋に伸ばさしむる本據となるべかりし也。惜
 ひべし。當時捨て、顧みざりしとや。若し夫れ今にして連珠的帝國の
 兩端に各々一珠を加へんと欲す、焉んぞ得べけんや。見ずや露の樺太
 お於ける用意と、清が臺灣に於ける經路とを、我れ焉んぞ之を獲るを

得んや。我れ焉んぞ遽かお之を獲るを得んや。嗚呼。明治政府が外交上
 に於ける二大失策。

布哇の事は篇を改めて論道するを以て、茲處には細論せざるべきも、
 大要は先づ參政權を得るにあり。今や布哇の變動は全く其局を結び
 たるに非ずして、假政府黨なり。王黨なり。獨立共和黨なり。皆竊かお日
 本及米英等諸國の舉動を伺ひつゝあるの時なれば、もし政府にして
 斷然日本擴大策を以て外交上の大主眼と定め、使を遣して參政權授
 與の事を談判し、有志の俊傑は競ふて布哇に之き、或は商店を開き、或
 は農業を營み、或は從來の出稼人を導かば、而して志を達するを得ば、
 櫻花國の勢力は靡然として太平洋面に遍ねからむ。一英人すら曰は
 すや、今や布哇の人口は九萬に過ぎずして、其の二萬五千は實に日本
 なり、而して此の多數なる日本人はカラカハ先王朝と締結せし日本

及び布哇の交通條約は實に最惠國條款に據れるふあらずや。假令日本政府の外交に痴鈍にして國光の發揚と在外日本人の利益とを計るに不熱心なるにもせよ、先きに布哇が憲法を改正したる時に際し、在布哇日本人は何故か之を黙過せしか、余は本國人民の布哇より受くる直接の利益なきが爲めに、之を冷視せしは其罪として責むるを欲せざるが、利害と榮辱の身邊を纏ふて離れざるの在布哇日本人にして一言の之れに及ぶなかりしは實に日本國民の爲ふ痛嘆に堪へず。抑々殖民地を開發せんには植民人は自ら其の政府を組織し其政權は悉く享有する能はざるも其多分を占領せざるへからざるなり。故に余は思らく日本人は政治思想ふ乏きを以て治者の地位に立つを得ず、被治者の地位を甘んずる者なり。今や日本紳士の所謂植民なるものを見るに、植民(コロニゼーション)にあらずして移民(エミグレ

ーション)なり。余は日本國の爲めに惜む、名を植民に取りて實を移民に擧げんとを。人種競争は十九世紀の舞臺に演せる大活劇なり、何故か日本人は唯だ植民動機の附従たる人口過剰のみに着眼して、敢て海外殖民の大策を着眼せざる。

今より以前に於ける、明治政府の對布哇策は實に一大失策に陥りたり、これ世人の明かみ知る處、然りと雖も今にして斷然方針を改め奮勵して事に赴かば、前過を補ふことを得るや必せり。嗚呼、退縮政策は國家千秋の大計を誤る者なり。今にして布哇に爲す所なくんば、愈々所謂三大失策を完結する者なり。志士何ぞ思ばざる。

布哇の現勢、日本人の參政權

布哇は北太平洋の中心にして、北東の方米國桑港を距ること二千一

百哩、南の方サモア島を距ること二千哩にして更らに濠洲シドニー市を距ること二千五百哩、而して北西の方我が横濱を距ること三千四百哩、洵に太平洋面に於ける、四通八達の要樞と云はざるを得ず。之れを獲る者は據て以て太平洋に雄飛するに足るべく、獲ざる者は永く獲たる者の鼻息を伺はざるを得ず。彈丸黒子の小島國と雖も、太平洋面に於ける航海上に與ふる影響は決して鮮少あちざる也。

布哇革命の報忽然として宇内に轟けり、これを實に我が櫻花國の明治廿六年一月十四日なりとす。革命何ふより起る、曰く布哇土人と白人との人種的競争は實に之れが根源なりとす。今や布哇の人口殆んど九万五千許あり、土人四万五千、日本人二万四千、支那人一万五千、葡萄牙人四千、米人二千、英人一千、他は歐洲各國及び南洋諸島よりの移民なりとす。而して人種的競争は先づ白人と土人との間を發裂せり、これ冷眼に看過すべき事實に非ず。本年一月十四日女王陛下の

國會を親臨まし、て閉會の式を挙げさへ玉ふや、土人の組織せるフイカライアイナ政社の社員數人王宮に到りて改正新憲法を捧呈し、添ふるに舊憲法を廢して新憲法を採用せんこと、の請願書を以てせり。新憲法の大意は、貴族院議員は女王之を命じ、且つ土人の人頭税を免する等なりとす。これ實に内閣員は勿論、總ての外國人に不利益の大なるものなれば、内閣員は斷然調印を拒絕せり。これを外形に現はれ、來りたる革命運動の第一着なりとす。翌十五日白人黨は保安會を組織して、益々女王に抗せんと試みたり。時に米國軍艦ホストンのホノルルに來るありて、水兵二百餘忽ち上陸して、ホノルル市の要害を占有せり。白人等思らく機熟せり、乃ち首謀クルパーなる者、政廳の前面なる高階に登り、群集に向ふて革命宣言書を朗讀せり。其文字々句々政府併に女王を攻撃して、到らざる所なく、遂に其の末節に至

りて明言して曰く

第一 布哇君主政は今日より廢止す

第二 國務を措置し社會の安寧を保護せんが爲め米國と聯合の議整ふ迄假政府を組織す

かくて假政府黨は直に聯合協議委員を米國に派遣し米政府と合併の事を議らしめたり時の大統領ハリスンは合併に意ありしも、グリブランドの代りて大統領となるや、合併に意なきものゝ如く、爾來蹀血の慘なしと雖も、事結んで解けず、以て今日に至れり。時に余米あり、米布合同の議興るを開き、思へらく布哇は夫れ遂ふ亡びんかど。既にして怪聞頻りに臻る、曰く女王は幽閉せられたり、曰く日英は秘密條約を訂して米布の合同を妨げ、其間に立ちて大に利する所あらんとす、曰く英國お在りし、布哇皇女は非合同を大統領に訴へんが爲め、ワ

シントン市に來れり。曰く大統領は事情視察委員を布哇に送れり。曰く日本軍艦布哇に來れり。曰く日本領事は日本人に參政權を與へんことを請求せり。曰く何、曰く何、余聞く毎に耳聳ち眉動く、思らく日本人が布哇に於て爲すべきは正お今日に在りど。

既にして余の布哇に之き、ホノル市に上陸するや、馬車を驅て先づ行て見しは故王宮なり、鐵門堅く鎖し宮裡閑として聲なく、棕櫚空しく茂りて禽鳥擅に飛ぶ、况んや數歩の間に在る白色の陋屋おは前女王の幽閉せられ居るに於てをや、豈お言ふ可らざるの感じを感せざらんや。王家果して恢復し克ふべきか否か、假政府果して斃し得べきか否か

熟らく布哇に於ける諸黨派の勢力を按察するお、太だ憫むに堪へざるものあり、試みに之れを揣摩せんか、黨派お四箇の區別あるが如

し。即ち一は今の假政府黨にして米布合同の議を主唱する者、二は勤王黨にして前々の王家なるカメハメハ統を恢復せんと欲する者、三は之れも同じく勤王黨なれども前女王を黨する者、四は獨立共和黨あして米布の合同に反對し、併せて王朝の恢復を反對する者、而して其勢力に至りては皆な微々として甚だ振はす、獨り假政府黨をして力殆んどサンドウツチ群島を蔽はしむ。想ふに假政府黨が獨り勢焰を逞うして他の然らざるは、蓋し以なきにあらず。抑カナカ土人は總じて蠢々たる愚民あして、國家の體面、獨立の大義と云ふが如きは、何事を意味するや、解せざるなり。或は彼のウイロコックス(雜種なれども)の如き志士も、之れなきにあらず。が奮發、洋屬臂を揮ふて、集り來り、血をカメハメハ大王の像前に啜り、飲泣して、外人の跋扈、國威の凌夷を告げ、誓ふて、國家の爲めに、身命を擲たんと欲する者、極めて寥々

にして、例のフラ、(踏舞の名)をおどりて、娛まん、と欲するは、皆な然り。假政府黨をして威を專にせしむ、決して偶然にあらずる也。而して亦た假政府黨が勢力ある所以を察するに、富の力と政治上の力とを併有せるを以て也。布哇は砂糖の産出を以て、宇内に鳴るもの也。而して砂糖製造場の重なる持主は米人を然りとせず、富力の米人に歸す固より也。况んや米人は政治上に重要な地位を占め居れば、憲法と云ひ財政と云ひ、次第々々米國風に化導しつゝあるなり。其の勢力の由て來る所知るべきのみ。米人の布哇にある者、其數三千に上らず、之れを我が在留同胞の二萬に較れば、七分の一に過ぎず、而も其の勢力は雲泥雷ならず、世の志士たる者、察せざるべからざる也。亦た歩を進めて之れが原因を尋ねる、已むを得ざるものなくんばあらず。抑大航海者クツクが擅香山(布哇)の異名支那人の名けし所の航路を發

見してよりや、かの暴悍兇惡の土人を驅て今日の如き温順なる者と
 なしたるは、實に米國基督教傳道會社の力極めて多し、之れが爲め同
 會社が消費したる金額は九十萬弗を超越したりと云ふ。且つや彼の
 宣教師輩が千難萬艱を冒して傳道に従事したるの遺風を聞けば、懦
 夫を立たしむるもの少きあらず。夫れかくの如く米人は夙に布哇
 に入りて運動したれば、獨り宣教師のみならず、事業家、冒險家等の入
 り來る者も次第に多く、遂に英語學校の數は土語學校の數よりも多
 く、布哇をして今日の如く米國化せしめ、其の輸出額も輸入額も米國
 を以て第一位となすに至れり。これ米布合同議の興る本因なり。今回
 の革命事件たる端を女王の憲法改正を發せしが如しと雖も、其の實
 は決して茲にあらざるなり。知るべし、合同は在布哇なる米人の宿志に
 して、偶々口を茲に借りて爆裂せしを願れば、今より殆んど四十年の

前、即ち千八百五十四年に合同議の興り、今にして亦た斯の如きも深
 く怪むに足らざる也。また地理上より察するも、布哇に最も近接せる
 は北米聯邦なり。以上の如く、政治上の勢力より、經濟上の勢力より、地
 理上の便利より、社交上の感化力より見て、若し小邦は大邦に併せら
 れ弱國は強國に合せざる可らざるものとせば、米布の合同は洵も天
 理に合ふたるものと云はむ。然れども我が日本たる者、豈に之れを默
 視して可ならんや。弱邦小國の爲め盡くすと云ふなる義、俠心は固よ
 りにして、亦た我櫻花國が千秋の長計として、布哇の今日を坐視す可
 らざる也。

布哇在留の同胞、其數二萬餘なり。二萬は決して少數あらず。若し夫
 れ米布おして合同せんか、契約勞働を以て來りたる斯の二萬餘の同胞
 は如何成り行くべきか。論者或は曰く、契約勞働は自由勞働の利あり

て理あるも若かずと然れども熟く考ふるに布哇に入り來り若くは入り來らんとする労働者は大抵無學ふして殆んど布哇語或は布哇第二の國語とも云ふべき英語も通せざる也斯る人々おして自由に渡來し自由に労働口を求めんと欲するは容易の事にあらず良しかの桂庵の如き者ありて周旋するとは云へ隨て起るべき弊害も亦た極めて多からむ自由労働と契約労働の利害得失決して輕々に看過すべきあらず若し布哇にして果して米國と合同せんが如きあらば契約労働を嚴禁する米國の事にしあれば布哇亦於ても亦た之れに倣ふは勿論の事にして否爾かせざる可らざるは當然の事と云ふべし若し此の場合に至るれば今の契約労働をやめて自由労働となさざる可らざるは當然の事なるが目下の景勢お於ては決して自由労働を以て契約労働より優れりと斷言する克はざる也契約労働と自

由労働との利害の如きも同胞二万餘の上に於ける若くは今後に於ける出稼人お取りて極めて重要なる問題なるに相違なきも事これより大なるは我が移住民の参政權を得んこと是れ也

夫れ支那人の布哇に在る既お久しく其の數も亦た多し而して彼等は種々の原因よりして國會は遂に彼等に對して拒絶案を議決したり今にして早く計を成し置くにあらずんば番り日本人が太平洋に雄飛するのステーションを失ふのみならず支那人同様の取扱を受くるに至るやも知るべからず彼れと云ひ之れと云ひ同胞が布哇に於て参政權を獲るは千秋の大長計と云はざるべからず然らば則ち如何にせんか一方よりは我が政府より公然と彼れの政府お談判するにあり就令は全權公使若くは全權大使を遣はして我が移住民に参政權を與へんことを請求するにあり今日の如く單に之れを領事

に委ね置くは不可なり而してまた他方よりは有志の士は續々として布哇に入り盛んに輿論を動かして彼此相對して斯の大事を擧ぐるにあり斯の二方案を以て運動を進むるの際併せて努力せざるべからざるは王黨なり獨立共和黨なり假政府黨なり孰れにもせよ最も日本人に親しみ日本人に參政權を與へんと欲する者の爲めに力を假すにあり今の出稼人お契約労働の期限を了へたる時は成るべく歸朝するをやめて布哇に永住するを薦むるにあり今の在留同胞は其數は二萬の多數に上り居ると云ふと雖もかゝる移住民のみみては唯た數字の上のみ勢力を有して實際は何の用もなけむ故に目お文字あり識見あるの士は奮て布哇に入り商店を開くなり農業を營むなり夫れく公民たるの資格を造らざる可らざる也

若し夫れ日本人にして布哇に參政權を得て同胞の中より五六の代

議士を出し或は一二の大臣を出さんか支那人と同一の運命を遭はざるは言ふ迄もなく日本人の勢力は靡然としてサンドウイッチ群島お遍く商業に農業お航海に其の利便なる僕を更ふるも數へ盡す可らざるものあらむ況んや擅香山を以て我が移住民のステーションと定め此處より墨國に向ひ南米に向ひ濠洲に向ふ其の利便なるも亦た喋々の要なき也亦た想ふに内地雜居は目下の最大問題おして雜居論者の言ふ所も理なきにあらず非雜居論者の所論も亦理あり甲是乙非紛々たり然れどもこれ實お國家の盛衰存亡にも關すべき大問題なれば先づ理化學の學生が實驗室に於て實驗を試みる如きことをせざるべからず然るにかの布哇を見よ目下布哇に於て政治上商業上共に至大の勢力を有しつゝあるは米人若くは歐人なれば若し我れにして此際に到り競争せば其の結果や實に我が爲めに

大に参考とするに足り紛々たる内地雜居の是非此處に至りて決定すべき也兎に角黄白兩人種特我が櫻花國民がかの白皙種と眞正の力量を競ふべき初舞臺は擅香山にわらずして何處ぞや。

布哇に於ける日本興業銀行と

日本小學校

我が櫻花國々民ふして既に擅香山に參政の權理を獲たりとせば、次ぎになすべきは地盤を堅むるところこれ也地盤を固むるは其策固より一二にして足らざるが其の最大要務は從來の出稼人を變して植民となし且つ有志の俊傑は陸續渡哇して事業を起すあり。抑も事業を振起するに必要するは言ふ迄もなく資本なり布哇に於て振起すべき事業や夫れ如何なる資本を投すべきか日本人の爲す

べき事業に使用する資本なれば宜しく之れを日本より持ち行くべしとするか抑も糧に敵によると云へる主義を採りて總ての資本は之れを布哇より獲んか資本の一事は志士の心を苦ましむる一難問なりとす想らく布哇に於て興すべき事業の資本は之れを本國より仰ぐも可なり然れども最も力を注ぐべきは之れを布哇に求むるの一事なり而して布哇より得べき資本の出處は實にかの二萬餘なる我が出稼人にありと信ず是れ一舉兩得の大便法にわらずとせんや。

夫れ布哇の日本出稼人は其數實に二萬以上の多きに達し而して今後益々増加するの傾向あるは明白なる事實なりとす今や我が出稼人の所得は一ヶ月十二弗半なれば之れを二萬人に乗すれば實に廿四萬弗餘なり固より二萬人の中ゴロツキもあり病客もあり小兒も

あり、怠惰者もあれば、これ等を三分の一と見積り、彼等は、一仙の所得なきものとして、數ふるも、尙ほ我が出稼人が一ヶ月の所得は、實に十六萬弗に達するなり、亦た此の内より、彼等が必要なる入費、乃ち一人一ヶ月五弗と見做して、都合十萬弗を引き去れば、純乎たる殘餘は六萬弗なり、この六萬弗を以て資本となし、以て事業を振興するに用ふ、豈亦妙ならずや、六萬弗は事業を起すの上に於て固より僅少たるを免れざるは、勿論なれども、六萬弗は一ヶ月に資本として使用するべき金額なれば、之れを一ケ年に見積れば七十二萬弗となるにわらずや、且つや別に本國より若干の資本を投じて事に當るあらば、資本足らざるの患は決して之れなしと信ず、然らば即ち如何なる方策によりて此の金額を集合し使用せんか、曰く、在布哇日本人興業銀行を設け、之れをして資本運動の機關たらしむるにあり、即ち若し布哇に

在る日本人にして、若しくは日本人の布哇に入りて事業を興さんと欲する者あらば、銀行は其人の望みに應じ、土地の購入なり、製造場の建設なり、家屋の築造なり、夫れ々之れが周旋に従事し、爲めに資本を貸與し、而して其土地購入費、製造場建築費等の如き、若しくは住家の建築費等の如きは、或る期限間に支拂べきの約束を以てす、其事を起すに利便なる知るべきのみ、利便は人の好む處、從て事業に従事する者多き處なれば、期年ならずして、布哇に於ける日本人の事業が隆々として盛大に赴くや、必せりとす、又たかくの如き銀行を興して、貯金を奨励せば、かの無知なる出稼人をして、空しく飲酒賭博等に金錢を浪費せしむるが如き事なく、彼等をして契約労働の期を了りたる後、或は商業に従事するなり、或は土地を購入して農業に従事するなり、皆な夫れ々確乎たる職業に従事するを得ん、且つや一大利益の

之れに伴ふものあり、即ちこの銀行は彼等出稼人をして、布哇土着の志を起さしむること之れなり。

今の在布哇出稼人は、永住の志ある者殆んど一人もなく、労働の期限を經過せば、皆な一日も早く、本邦に歸らんことを願はざるはなし。試みお彼等に、君は斯國お住居する氣はありませんかと問へば、即ち曰く、モ一少して契約がきれますから切れたらうすぐ歸りますと、亦た日本へ歸るより此國へ永住した方がつまりは得策ではありませんかと問へば、笑て答へざるもの皆な然り。人誰か故郷を懷はざらんや、那翁の大英姿を以てすら、而して歐洲に覇とし、佛國お帝として巴厘城裡に人世最大の榮耀を極めし時に於てすら、尙ほ且つコルシカ嶋を忘るゝ能はざりしと云へば、布哇出稼人が一日も早く故山に歸りたきは、無理ならぬ事ながら、之れ實に布哇おは故郷的の快樂と利便

どなきによる。故郷的の利便と快樂とは、實にかの朋友親族の交際、住居の便利、一家の團樂等を云ふなり。試みに、茲お一人ありとせよ、而して彼れは布哇に永住したりとせよ、其の隣近は悉く白人、土人若しくは雜種人にして、偶々日本人ありとするも、皆な家なき出稼人おして數年ならずして歸朝する者なりとせよ、彼れは如何お心細きよ。就令彼れおして巧みに英語若しくはカナカ語を使用するとするも、彼れが一家の人々は如何に不便にして、快樂少きよ、又た出稼人にして労働期限を了へて、永住する者ありとするも、彼等は元來本邦より純農として渡哇したるものなれば、英語若しくは布哇語の智識なきは勿論にして、且つ日本擴大等の觀念なきは勿論なれば、單獨にして永住する能はざるは知るべきのみされば、若し興業銀行にして、彼等の爲に家を建築し、彼等の爲めに土地を購入する等の周旋をなし、所謂

向ふ三軒兩隣日本人の家屋をして相臨ましめ茲處に朋友あり彼處に親戚あり其處お舊故あらば而して尙ほ且つクラブを設け置き時々相集りて講談を聴くも可なり演劇を催すも可なり義太夫を聴くも可なりかくの如くせば彼等をして布哇を見ると猶ほ故郷の如く死して茲處に葬られんと願ふの傾向を生ずるや疑ひなけん布哇に興業銀行を起すは日本殖民の地盤を固む爲めの最大要件たらずんばあらずとす。

在布哇日本人興業銀行を起すに付き特別に注意せざる可らざるは役員職務なり斯の興業銀行は固より特別の目的を以て設立する者なれば其の役員の如きも特別の仕事に従はざる可らず即ち彼等をして常お群嶋を巡廻しプランテーションお行きて我が出稼人に面會し彼等が受取りたる賃銀の幾分を預り來るとこれなり布哇は

八ヶ嶋を以て成立したる群嶋國にして我が出稼人は各嶋に散在し居るなれば就令出稼人にして金を銀行にあづけんも不便なるが爲め思ひ止まるとなきにあらず且つ文字を書き解せざるが爲め銀行在處の地に郵送する能はざる人々も少しと云ふ可らずされば役員をして常に各嶋各プランテーションの間に往來して貯金の事を取扱はしめ且つ土地賣買及び商品の向き不向き等の事に注目せしむべきなり要するに布哇出稼人をして變じて布哇殖民とするは斯の銀行を興すより急なるはなし。

興業銀行に繼で必用なるは小學校なり教育の人生お必用なるは今更ら説く迄もなく且つ出稼人の子弟の如きに至りては特別お其の大必要なるを認むるなり抑も布哇出稼人中には固より學文あり才藝ある者もなきおあらざるが概して無智にして無學なり既に然ら

ば彼等の子弟は高尚なる遺傳的性質なきなり、高尚なる遺傳的性質を有せざる者にありては、教育は殊更らに必要なりと云はざる可らず。然らば即ち布哇嶋に日本小學校を設立するは、忽諸に付す可らざる問題なりと信ず。況んや學校を設立して布哇に於て生れたる櫻花國民の子弟を日本的に教育するにあらずんば、布哇に於ける我が國民は、遂に何の利益をもなすと、なけん布哇に於て生れたる日本人を教育するに、布哇の學校を以てし、而して彼等の思想をして、米國たらしめば、彼等は日本人の身體にして日本人にあらざるなり、これ宛として墨國を殖民したる西班牙人の如く、墨國の殖民は西班牙其もの爲めには、遂に利益する所なきありたる、と同一の結果に至らんのみ。然らば即ち日本擴大策の上より見て、布哇に日本小學校を起すは、曠々の裡に莫大なる利益の横はるを知るや知らずや、且つや日本

小學校を設立するは、殆んど言語的競争の第一着歩として、亦た政治上商業上の最遠的用意と知るや知らずや。

ヤンキー一畢

明治廿六年八月七日印刷
明治廿六年八月十日發行

敬請登錄

版權
所有

著者 長

澤
東京市本所區松井町
三丁目廿一番地

說

發行者 井

上
東京市神田區錦町三
丁目一番地

吉

印刷者 仁

科
東京市日本橋區藥研
堀町三十三番地

衛

印刷所 厚

信
東京市日本橋區藥研
堀町三十三番地

舍

定價金二拾錢

發賣所

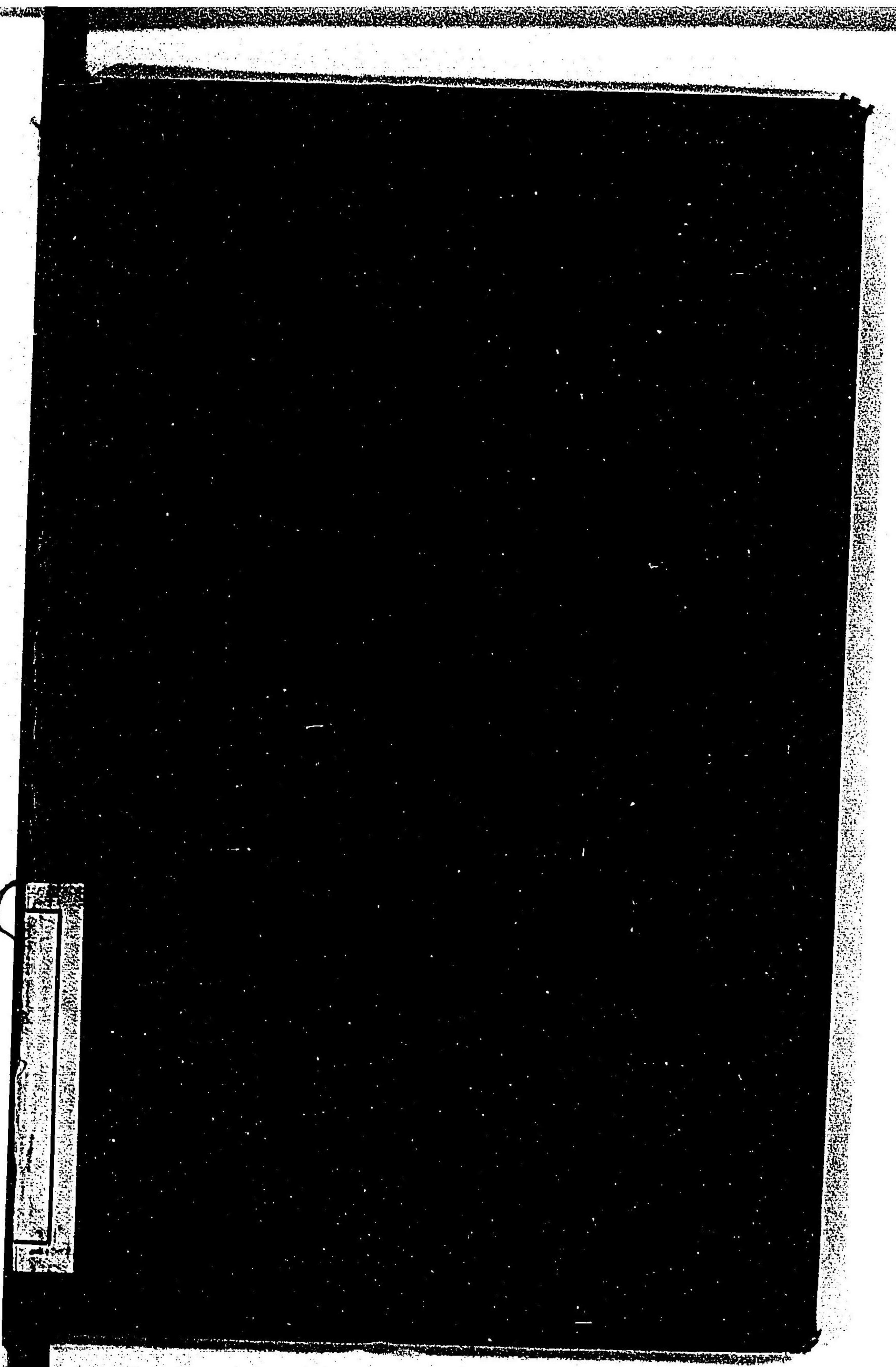
東京市神田區裏神保町一番地
敬業社

各 地 賣 捌 書 肆

大坂市備後町四丁目
 東京市日本橋區通三丁目
 全 京市神田區表神保町
 全 坂市備後町四丁目
 全 南區心齋橋二丁目
 全 北區久太寺町
 全 北區久太寺町
 全 古屋市本町三丁目
 全 博多市中島町
 全 筑後市米屋町
 全 佐賀市白米屋町
 全 長崎市新屋町
 全 熊本市新屋町
 全 鹿兒島市仲町
 全 長野市大門町
 全 秋田市大町二丁目
 全 越前市山十物町
 全 山口市中四町
 全 北海道札幌南一條

敬業社出張所
 丸善商社
 中西屋邦商
 共益龜商
 梅原益龜
 石井鈞三
 吉岡九兵衛
 松原喜兵衛
 柳木佐兵衛
 三木代四
 川瀨東四
 片野瀨東四
 森岡東四
 積善館支
 河竹壯三
 安內壯三
 長崎半三
 吉崎幸次
 西澤喜兵衛
 鈴木鐵太
 中田英武
 小育鹽武

70
136





026978-000-3

70-136

ヤンキー

長沢 説/著

M26

ADG-0107

